

現場説明書（技術的事項）

工事名称 福山市庁舎東棟他便所改修工事

1 現場の状況

工事場所は、福山市東桜町3番5号に位置し、福山市道三之丸東桜町1号線、西町東桜町幹線及び国道2号線に接しています。

本施設は、工事期間中も通常通り業務を行っています。

2 別途工事

電気設備工事、給排水衛生設備工事

3 留意事項

【共通事項】

- (1) 工事に当たっては、騒音、粉塵、振動、汚染排水等により、職員、関係者及び第三者に迷惑のかからないよう十分配慮してください。
- (2) 工事期間中も本施設を使用しているため、工事関係者はもとより、職員、関係者及び第三者への安全確保に必要な対策を講じてください。
- (3) 工事車両等の乗り入れ及び駐車位置は、監督員及び施設管理者と事前に協議を行ってください。
- (4) 資材の搬入、搬出時にはシート等でカバーするなど、土砂・木片等が飛散しないよう注意するとともに、タイヤ等に付着した土砂によって道路汚損等のないように注意してください。
- (5) 工事に係る留意事項は、協力業者、資材納入業者等にも指導を徹底してください。
- (6) 工事現場内の資機材の保管等については、受注者において十分な管理を行い、各工種・工程における廃材・ごみ等についても、受注者の責任において遅滞なく処理してください。
- (7) 実施工程表は、契約後14日以内に提出し承諾を受けてください。また、施工関係書についても速やかに提出し、承諾を受けてください。
- (8) 工事により周囲の建物や工作物に汚損等が生じた場合は、監督員及び施設管理者に報告するとともに、受注者の責任で速やかに復旧してください。
- (9) はつり工事等施設使用に影響を及ぼす作業については、十分な騒音・粉塵対策を講じてください。
- (10) 特定建設資材は再資源化に努め、産業廃棄物は関係法令に従い適切に処理してください。
- (11) 工事施工に必要な官公署への手続は、受注者の責任において速やかに行い、手続を行った場合は、速やかに報告してください。
- (12) 受注者は、地元企業、地場製品の活用に努めてください。
- (13) 受注者は、各種工事の職種を問わず、積極的に「技能士」適用に努めてください。

【特記事項】

- (1) 議会棟4階・5階男子便所について、6月定例会市議会及び9月定例会市議会が開催される期間中は工事を行うことができません。
- (2) 工事期間は以下の通りとします。
 - ア 議会棟4階・5階便所は7月上旬から8月上旬までに工事を完成させて下さい。
 - イ 東棟2階便所は8月中旬から9月中旬までに工事を完成させて下さい。
 - ウ 東棟1階・3階便所は9月下旬から10月下旬までに工事を完成させて下さい。
- (3) 音の出る作業については、庁舎閉庁日に行ってください。
- (4) 施設内の作業動線には適切な養生を行ってください。

福山市庁舎東棟他便所改修工事

図 面 リ ス ト	
番号	図 面 名 称
A-00	表紙・図面リスト
A-01	建築改修工事特記仕様書 No-1
A-02	建築改修工事特記仕様書 No-2
A-03	建築改修工事特記仕様書 No-3
A-04	建築改修工事特記仕様書 No-4
A-05	建築改修工事特記仕様書 No-5
A-06	建築改修工事特記仕様書 No-6
A-07	建築改修工事特記仕様書 No-7
A-08	建築改修工事特記仕様書 No-8
A-09	建築改修工事特記仕様書 No-9
A-10	付近見取図・配置図
A-11	1階平面図
A-12	2階平面図
A-13	3階平面図
A-14	4階平面図
A-15	5階平面図
A-16	東棟1・2・3階男子便所 平面詳細図
A-17	議会棟4階男子便所 平面詳細図
A-18	議会棟5階男子便所 平面詳細図
A-19	東棟1・2・3階男子便所 展開図
A-20	議会棟4階男子便所 展開図
A-21	議会棟5階男子便所 展開図

福山市建設局建築部営繕課		2026年 4月			
主務	課員	次長	課長補佐	営繕課長	建築部長



福山市建設局建築部営繕課

設計
2026年 4月工事名称
福山市庁舎東棟他便所改修工事図面名称
表紙・図面リスト

図面No

A-00

福山市建築改修工事特記仕様書

- I 工事概要**
1. 工事場所 福山市東桜町3番5号
 2. 敷地面積 13.673.81㎡
 3. 工事種目
 - (1) (東 棟) RC造 地上5階 塔屋1階建 延べ面積 2.437.68㎡
 - (2) (議会議棟) SRC造 地下1階 地上5階 塔屋1階建 延べ面積 1.553.57㎡
 - (3) _____
 - (4) _____
 - (5) _____
- 4. 工事範囲**
 ※「3. 工事種目」全てを工事範囲とする。
 ○「3. 工事種目」のうち 2、6、9 の全てを工事範囲とする。
 ・「3. 工事種目」のうち _____ の工事範囲は次表のとおりとする。
 ただし、その他の工事種目は全て今回工事範囲とする。

工事種目	工事範囲
2 仮設工事	
3 防水改修工事	
4 外壁改修工事	
5 建具改修工事	
6 内装改修工事	
7 塗装改修工事	
8 耐震改修工事	
9 環境配慮改修工事	

- II 建築改修工事仕様**
1. 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官庁審判部制定の「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）令和7年版」（以下「改修標準仕様書」という。）及び「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）令和7年版」（以下「標準仕様書」という。）によるほか、下記仕様書等のうち、○を付けたものを適用する。
 - 建築工事標準詳細図（令和4年版）（以下「標準詳細図」という。）
 - ・ 建築物解体工事共通仕様書（令和4年版）
 2. 電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事はそれぞれの工事特記仕様書を用いる。なお、電気設備工事の工事特記仕様書は（ / ）図、機械設備工事の工事特記仕様書は（ / ）図による。
 3. 特記仕様書の適用は次による。
 - (1) 項目は、○ 印の付いたものを適用する。
 - (2) 特記事項は、○ 印の付いたものを適用する。
 - 印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
 - 印と ※ 印の付いた場合は、共に適用する。
 - (3) 特記事項に記載の [. . .] 内の表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。

III 福山市建築改修工事仕様
 本特記仕様書において、「監督職員」と記載があるものは「監督員」と読み替えるものとする。
 本工事の工期は、設備工事の工期及び工事検査期間として14日を含んでいる。
 本工事は、法定外の労務保護を含んでいる。

1. 官公署の手続き
受注者は、発注者が行うとされている関係官公署への必要な手続きを代行する。(官公署手続きは監督職員の承諾後とする。)
2. 施工中の安全確保
本工事は、交通誘導員として 人を見込んでいる。
交通誘導員の配置については、実施伝票（原本）及び配置状況の分かる立会写真の撮影を行い監督職員に提出する。
3. 監理（主任）技術者
現場代理人及び監理（主任）技術者は、工事現場内において工事名、工期、写真、所属会社名及び証明印の入った名札を着用する。
4. 別契約の関連工事との調整等
 - ・ 施工範囲は「工事区分表」による。
 - ・ 別契約の関連工事受注者が足場などを使用する場合は無償とする。
 - 別契約の関連工事受注者と工程を含めた総合的な打合せを定期的に行う。
5. 施工管理
※ 施工体制台帳の写しを提出する。
6. 施工図及び施工計画書
提出した施工図及び施工計画書の著作に係わる当該建物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。
7. 保証書
次の工事について保証書を提出する。

工事区分	材料名	保証年限	備 考
・	・	年	
		年	
		年	
		年	
・	・	年	
		年	
		年	
・	・	年	
		年	
		年	
・	・	年	
		年	
		年	
・	・	年	
		年	
		年	

8. 引渡し後点検
引渡し後、次の点検を行う。（○印の付いたものを適用する。）
 - ・ 引渡し後点検（第1次点検） 引渡しの日後1年後
 - ・ 引渡し後点検（第2次点検） 引渡しの日後2年後

章	項目	特記事項									
1	○ 一般事項	<p>適用基準</p> <p>図面、本特記仕様書、標準仕様書に記載のない事項は次による。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 建築物解体工事共通仕様書（令和4年版） 国土交通省大臣官庁審判部 ○ 営繕工事写真撮影要領（令和5年版） 国土交通省大臣官庁審判部 ○ 建築工事標準詳細図（令和4年版） 国土交通省大臣官庁審判部 									
	○ 工事実績情報システム（コリンズ）への登録	登録 ○ する									
	・ 書面の書式及び取扱い	<p>情報共有システムの適用及び機能要件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 適用する機能要件（ ・ 現場説明書による ） 									
	・ 遮隔臨場の実施	<p>遮隔臨場の適用及び実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 適用する実施内容（ ・ 現場説明書による ） 									
	○ 実施工程表	<p>概成工期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 有り（ ・ 現場説明書による ） ○ 無し 									
	○ 工事の記録等	<p>報告に用いる書式等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現場説明書による ○ 改修標準仕様書1.2.4(4)により整備する工事写真については次による 「営繕工事写真撮影要領による工事写真撮影ガイドブック建築工事編及び解体工事編 令和5年版」 国土交通省大臣官庁審判部 ○ 着手前・工事中写真 撮影仕様（ ※ L 判程度（カラー） ） 提出仕様（ ※ A4 判印刷、若しくは A4 判写真 ） 提出部数（ ※ 1部 ） 									
	・ 電気保安技術者	<p>配置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ する 									
	○ 施工条件	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施工順序（ ） ・ 工事用車両の駐車場及び資機材の置き場所（ ） ○ 改修標準仕様書1.3.5(1)から(3)まで以外の施工条件 ○ 現場説明書による ・ 作業時間は、原則午前8時から午後5時までとし、通学時間帯を考慮する。 ・ 日曜日及び祝日に作業を行わない。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合は、この限りでない。 ・ 連休二日適用工事（ ・ 現場説明書による ） 									
	○ 発生材の処理等	<p>処理等</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 発注者に引渡しを要するもの ・ 現場説明書による ○ なし ・ 特別管理型産業廃棄物の種類及び処理方法 ・ 現場説明書による ・ 工事現場において再利用及び再資源化を図るもの ・ 現場説明書による ・ ひ素・カドミウム含有せっこうボードの処理 （ ・ 製造業者へ処分委託 ・ 管理型最終処分場へ処理 ） ・ 石膏含有せっこうボード、ひ素・カドミウム含有せっこうボード以外のせっこうボードの処理 （ ・ 管理型最終処分場へ処理 ・ 再資源化 ） ・ POB含有シーリング材の分析調査（ ・ 行う ・ ） ・ POB含有シーリング材の撤去（ ・ 行う ・ ） ・ 特別管理型産業廃棄物の分析調査（ ・ 行う ・ ） <p>※ 建設副産物情報交換システム（COBRIS）（財）日本建設情報総合センター 本工事は登録対象工事であるため、受注者は、施工計画時、工事完了時及び登録情報の変更が生じた場合は、速やかに当該システムにデータの登録を行うものとする。 また、建設リサイクル法に規定する建設資材を搬入（搬出）する場合は、次表により計画書（実施書）を提出する。なお、これにより難しい場合は、監督職員と協議する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>施 工 計 画 時</th> <th>工 事 完 了 時</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>搬入</td> <td>再生資源利用計画書</td> <td>再生資源利用実施書</td> </tr> <tr> <td>搬出</td> <td>再生資源利用促進計画書</td> <td>再生資源利用促進実施書</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 本工事で発生する建設廃棄物のうち、広島県内の最終処分場に搬入する建設廃棄物については、広島県産業廃棄物埋立税が課税される。 なお、本工事では広島県産業廃棄物埋立税相当額を含んでいる。</p>		施 工 計 画 時	工 事 完 了 時	搬入	再生資源利用計画書	再生資源利用実施書	搬出	再生資源利用促進計画書	再生資源利用促進実施書
		施 工 計 画 時	工 事 完 了 時								
搬入	再生資源利用計画書	再生資源利用実施書									
搬出	再生資源利用促進計画書	再生資源利用促進実施書									
○ 石綿含有建材の調査	<p>調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ 石綿含有建材の事前調査 工事着手に先立ち、あらかじめ関係法令に基づき、石綿含有建材の事前調査を行う。 <p>調査範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図示による ○ 改修範囲 <p>資与資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 分析による石綿含有建材の調査 分析対象 アクチノライト、アモサイト、アンソフィライト、クリソタイト、クロソライト、トモライト <p>資料採取箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「石綿則に基づく事前調査のアスベスト分析マニュアル【第2版】」の1.7.11による ・ 図示による 										
・ 施工数量調査	各章の特記による。										

章	項目	特記事項																																																																																																								
2	○ 技能士	<p>適用</p> <p>適用する技能検定の職種及び作業の種別は次表による。 [1.7.2]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>適用工事種類</th> <th>職 種</th> <th>技能検定の作業の種別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>仮設工事</td> <td>とび</td> <td>・ とび作業</td> </tr> <tr> <td>鉄筋工事</td> <td>鉄筋施工</td> <td>・ 鉄筋組立て作業</td> </tr> <tr> <td>コンクリート工事</td> <td>型枠施工</td> <td>・ 型枠工事作業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>コンクリート圧送施工</td> <td>・ コンクリート圧送工事作業</td> </tr> <tr> <td>鉄骨工事</td> <td>鉄工</td> <td>・ 構造物取付作業</td> </tr> <tr> <td>コンクリートブロック</td> <td>ブロック建築</td> <td>・ コンクリートブロック工事作業</td> </tr> <tr> <td>ALCパネル及び押出成形セメント板工事</td> <td>エーエルシーパネル施工</td> <td>・ エーエルシーパネル工事作業</td> </tr> <tr> <td>防水工事</td> <td>防水施工</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ アスファルト防水工事作業 ・ ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・ アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・ 合成ゴムシート防水工事作業 ・ 塩化ビニル系シート防水工事作業 ・ セメント系防水工事作業 ・ シーリング防水工事作業 ・ 改質アスファルトシート工法防水工事作業 ・ 改質アスファルトシート常温粘着工法防水工事作業 ・ FRP防水工事作業 </td> </tr> <tr> <td>石工事</td> <td>石材施工</td> <td>・ 石張り作業</td> </tr> <tr> <td>タイル工事</td> <td>タイル張り</td> <td>○ タイル張り作業</td> </tr> <tr> <td>木工事</td> <td>建築大工</td> <td>・ 大工工事作業</td> </tr> <tr> <td>屋根及びとい工事</td> <td>建築板金</td> <td>・ 内外装板金作業</td> </tr> <tr> <td>金属工事</td> <td>内装仕上げ施工</td> <td>○ 鋼製下地工事作業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>建築板金</td> <td>・ 内外装板金作業</td> </tr> <tr> <td>左官工事</td> <td>左官</td> <td>・ 左官作業</td> </tr> <tr> <td>建具工事</td> <td>サッシ施工</td> <td>・ ビル用サッシ工事作業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ガラス施工</td> <td>・ ガラス工事作業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>自動ドア施工</td> <td>・ 自動ドア工事作業</td> </tr> <tr> <td>カーテンウォール工事</td> <td>カーテンウォール施工</td> <td>・ 金属製カーテンウォール工事作業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>サッシ施工</td> <td>・ ビル用サッシ工事作業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ガラス施工</td> <td>・ ガラス工事作業</td> </tr> <tr> <td>塗装工事</td> <td>塗装</td> <td>・ 建築塗装作業</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">内装工事</td> <td>内装仕上げ施工</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ○ プラスチック系床仕上げ工事作業 ・ カーペット系床仕上げ工事作業 ・ 木質系床仕上げ工事作業 ○ ボード仕上げ工事作業 ・ 壁装作業 </td> </tr> <tr> <td>表装</td> <td>・ 建築配管作業</td> </tr> <tr> <td>排水工事</td> <td>配管</td> <td>・ 建築配管作業</td> </tr> <tr> <td>舗装工事</td> <td>路面標示施工</td> <td>・ 溶融ペイントハンドマーカー工事作業</td> </tr> <tr> <td>植栽工事</td> <td>造園</td> <td>・ 加熱ペイントマシンマーカー工事作業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>造園</td> <td>・ 造園工事作業</td> </tr> <tr> <td>濃度測定の実施</td> <td></td> <td> <p>濃度測定の実施 [1.7.10]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 適用する測定時期 ・ 現場説明書による 測定対象化学物質 ・ ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチレベンゼン、ステレン 測定方法 ・ パッシブ型採取機器による 測定対象室及び測定箇所 ・ 現場説明書による </td> </tr> <tr> <td>中間技術検査</td> <td></td> <td> <p>中間技術検査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実施回数()回 ・ 実施する段階() ※ 工事請負契約締結後、監督職員から通知 </td> </tr> <tr> <td>提出図書</td> <td></td> <td> <p>提出図書 [1.8.2]</p> <p>※ 改修標準仕様書1.9.2及び1.9.3による</p> </td> </tr> <tr> <td>種類、記入内容等</td> <td></td> <td> <p>種類、記入内容等 [1.9.2][表1.9.1]</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ 改修標準仕様書 表1.9.1による 提出部数()部 提出仕様(・ 紙ベース ○ 電子データ ・) ※ 竣工図 速やかに次の図書を提出する(※ 完成図 ・ 竣工図) ○ A3判を2つ折りにして製本 部 部 ※電子データ提出 一式(福山市竣工図電子データ作成要領による。) ○ CADデータ(媒体(CD-R等)、データ形式等は監督職員の指示による。) </td> </tr> <tr> <td>作成等</td> <td></td> <td> <p>作成等 [1.9.3]</p> <ul style="list-style-type: none"> 提出部数()部 提出仕様(・ 紙ベース ・ 電子データ ・) </td> </tr> <tr> <td>工事完成時に次の完成写真を撮影し、監督職員に提出する。</td> <td></td> <td> <p>撮影箇所 (各室4面)</p> <p>撮影仕様 (形 式 : ※ 電子データ JPEG フルカラー ・) 画質等 : ・ 外景 4500×3000ピクセル以上で画像補正を行ったもの ○ 各室 1280×960ピクセル以上かつデジタルカメラの設定のうち最高の画質 ・)</p> <p>提出仕様 (※ 電子データ ・ アルバム(A4判程度) 1部 ○ 写真帳 1部) 検査後14日以内に提出する。 電子データ形式等は、監督職員の指示による。</p> </td> </tr> </tbody> </table>	適用工事種類	職 種	技能検定の作業の種別	仮設工事	とび	・ とび作業	鉄筋工事	鉄筋施工	・ 鉄筋組立て作業	コンクリート工事	型枠施工	・ 型枠工事作業		コンクリート圧送施工	・ コンクリート圧送工事作業	鉄骨工事	鉄工	・ 構造物取付作業	コンクリートブロック	ブロック建築	・ コンクリートブロック工事作業	ALCパネル及び押出成形セメント板工事	エーエルシーパネル施工	・ エーエルシーパネル工事作業	防水工事	防水施工	<ul style="list-style-type: none"> ・ アスファルト防水工事作業 ・ ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・ アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・ 合成ゴムシート防水工事作業 ・ 塩化ビニル系シート防水工事作業 ・ セメント系防水工事作業 ・ シーリング防水工事作業 ・ 改質アスファルトシート工法防水工事作業 ・ 改質アスファルトシート常温粘着工法防水工事作業 ・ FRP防水工事作業 	石工事	石材施工	・ 石張り作業	タイル工事	タイル張り	○ タイル張り作業	木工事	建築大工	・ 大工工事作業	屋根及びとい工事	建築板金	・ 内外装板金作業	金属工事	内装仕上げ施工	○ 鋼製下地工事作業		建築板金	・ 内外装板金作業	左官工事	左官	・ 左官作業	建具工事	サッシ施工	・ ビル用サッシ工事作業		ガラス施工	・ ガラス工事作業		自動ドア施工	・ 自動ドア工事作業	カーテンウォール工事	カーテンウォール施工	・ 金属製カーテンウォール工事作業		サッシ施工	・ ビル用サッシ工事作業		ガラス施工	・ ガラス工事作業	塗装工事	塗装	・ 建築塗装作業	内装工事	内装仕上げ施工	<ul style="list-style-type: none"> ○ プラスチック系床仕上げ工事作業 ・ カーペット系床仕上げ工事作業 ・ 木質系床仕上げ工事作業 ○ ボード仕上げ工事作業 ・ 壁装作業 	表装	・ 建築配管作業	排水工事	配管	・ 建築配管作業	舗装工事	路面標示施工	・ 溶融ペイントハンドマーカー工事作業	植栽工事	造園	・ 加熱ペイントマシンマーカー工事作業		造園	・ 造園工事作業	濃度測定の実施		<p>濃度測定の実施 [1.7.10]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 適用する測定時期 ・ 現場説明書による 測定対象化学物質 ・ ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチレベンゼン、ステレン 測定方法 ・ パッシブ型採取機器による 測定対象室及び測定箇所 ・ 現場説明書による 	中間技術検査		<p>中間技術検査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実施回数()回 ・ 実施する段階() ※ 工事請負契約締結後、監督職員から通知 	提出図書		<p>提出図書 [1.8.2]</p> <p>※ 改修標準仕様書1.9.2及び1.9.3による</p>	種類、記入内容等		<p>種類、記入内容等 [1.9.2][表1.9.1]</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ 改修標準仕様書 表1.9.1による 提出部数()部 提出仕様(・ 紙ベース ○ 電子データ ・) ※ 竣工図 速やかに次の図書を提出する(※ 完成図 ・ 竣工図) ○ A3判を2つ折りにして製本 部 部 ※電子データ提出 一式(福山市竣工図電子データ作成要領による。) ○ CADデータ(媒体(CD-R等)、データ形式等は監督職員の指示による。) 	作成等		<p>作成等 [1.9.3]</p> <ul style="list-style-type: none"> 提出部数()部 提出仕様(・ 紙ベース ・ 電子データ ・) 	工事完成時に次の完成写真を撮影し、監督職員に提出する。		<p>撮影箇所 (各室4面)</p> <p>撮影仕様 (形 式 : ※ 電子データ JPEG フルカラー ・) 画質等 : ・ 外景 4500×3000ピクセル以上で画像補正を行ったもの ○ 各室 1280×960ピクセル以上かつデジタルカメラの設定のうち最高の画質 ・)</p> <p>提出仕様 (※ 電子データ ・ アルバム(A4判程度) 1部 ○ 写真帳 1部) 検査後14日以内に提出する。 電子データ形式等は、監督職員の指示による。</p>
	適用工事種類	職 種	技能検定の作業の種別																																																																																																							
	仮設工事	とび	・ とび作業																																																																																																							
	鉄筋工事	鉄筋施工	・ 鉄筋組立て作業																																																																																																							
	コンクリート工事	型枠施工	・ 型枠工事作業																																																																																																							
		コンクリート圧送施工	・ コンクリート圧送工事作業																																																																																																							
	鉄骨工事	鉄工	・ 構造物取付作業																																																																																																							
	コンクリートブロック	ブロック建築	・ コンクリートブロック工事作業																																																																																																							
	ALCパネル及び押出成形セメント板工事	エーエルシーパネル施工	・ エーエルシーパネル工事作業																																																																																																							
	防水工事	防水施工	<ul style="list-style-type: none"> ・ アスファルト防水工事作業 ・ ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・ アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・ 合成ゴムシート防水工事作業 ・ 塩化ビニル系シート防水工事作業 ・ セメント系防水工事作業 ・ シーリング防水工事作業 ・ 改質アスファルトシート工法防水工事作業 ・ 改質アスファルトシート常温粘着工法防水工事作業 ・ FRP防水工事作業 																																																																																																							
石工事	石材施工	・ 石張り作業																																																																																																								
タイル工事	タイル張り	○ タイル張り作業																																																																																																								
木工事	建築大工	・ 大工工事作業																																																																																																								
屋根及びとい工事	建築板金	・ 内外装板金作業																																																																																																								
金属工事	内装仕上げ施工	○ 鋼製下地工事作業																																																																																																								
	建築板金	・ 内外装板金作業																																																																																																								
左官工事	左官	・ 左官作業																																																																																																								
建具工事	サッシ施工	・ ビル用サッシ工事作業																																																																																																								
	ガラス施工	・ ガラス工事作業																																																																																																								
	自動ドア施工	・ 自動ドア工事作業																																																																																																								
カーテンウォール工事	カーテンウォール施工	・ 金属製カーテンウォール工事作業																																																																																																								
	サッシ施工	・ ビル用サッシ工事作業																																																																																																								
	ガラス施工	・ ガラス工事作業																																																																																																								
塗装工事	塗装	・ 建築塗装作業																																																																																																								
内装工事	内装仕上げ施工	<ul style="list-style-type: none"> ○ プラスチック系床仕上げ工事作業 ・ カーペット系床仕上げ工事作業 ・ 木質系床仕上げ工事作業 ○ ボード仕上げ工事作業 ・ 壁装作業 																																																																																																								
	表装	・ 建築配管作業																																																																																																								
排水工事	配管	・ 建築配管作業																																																																																																								
舗装工事	路面標示施工	・ 溶融ペイントハンドマーカー工事作業																																																																																																								
植栽工事	造園	・ 加熱ペイントマシンマーカー工事作業																																																																																																								
	造園	・ 造園工事作業																																																																																																								
濃度測定の実施		<p>濃度測定の実施 [1.7.10]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 適用する測定時期 ・ 現場説明書による 測定対象化学物質 ・ ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチレベンゼン、ステレン 測定方法 ・ パッシブ型採取機器による 測定対象室及び測定箇所 ・ 現場説明書による 																																																																																																								
中間技術検査		<p>中間技術検査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実施回数()回 ・ 実施する段階() ※ 工事請負契約締結後、監督職員から通知 																																																																																																								
提出図書		<p>提出図書 [1.8.2]</p> <p>※ 改修標準仕様書1.9.2及び1.9.3による</p>																																																																																																								
種類、記入内容等		<p>種類、記入内容等 [1.9.2][表1.9.1]</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ 改修標準仕様書 表1.9.1による 提出部数()部 提出仕様(・ 紙ベース ○ 電子データ ・) ※ 竣工図 速やかに次の図書を提出する(※ 完成図 ・ 竣工図) ○ A3判を2つ折りにして製本 部 部 ※電子データ提出 一式(福山市竣工図電子データ作成要領による。) ○ CADデータ(媒体(CD-R等)、データ形式等は監督職員の指示による。) 																																																																																																								
作成等		<p>作成等 [1.9.3]</p> <ul style="list-style-type: none"> 提出部数()部 提出仕様(・ 紙ベース ・ 電子データ ・) 																																																																																																								
工事完成時に次の完成写真を撮影し、監督職員に提出する。		<p>撮影箇所 (各室4面)</p> <p>撮影仕様 (形 式 : ※ 電子データ JPEG フルカラー ・) 画質等 : ・ 外景 4500×3000ピクセル以上で画像補正を行ったもの ○ 各室 1280×960ピクセル以上かつデジタルカメラの設定のうち最高の画質 ・)</p> <p>提出仕様 (※ 電子データ ・ アルバム(A4判程度) 1部 ○ 写真帳 1部) 検査後14日以内に提出する。 電子データ形式等は、監督職員の指示による。</p>																																																																																																								

章	項目	特記事項																												
2	・ 騒音・粉じん等の対策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防音パネル ・ 防音シート <p>防音パネル等を取り付ける足場等の設置範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図示による 																												
	・ 足場等	<p>外部足場 [2.2.1][表2.2.1]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 設置する(設置範囲 ・ 工事に必要な範囲 ・) ・ 設置しない <p>防護シート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 設置する(設置範囲 ・ 工事に必要な範囲 ・) ・ 設置しない <p>内部足場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 設置する(※ 脚立、足場板等 ・) ・ 設置しない ・ 材料、撤去材等の運搬方法 <p>種別(・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ E種) C種: 利用可能なエレベーター () D種: 利用可能な階段 ()</p>																												
	○ 既存部分の養生	<p>養生方法等 [2.3.1]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 既存部分 養生方法(※ ビニルシート、合板 ・) ・ 既存家具、既存設備等 養生方法(※ ビニルシート等 ・) ・ 既存ブラインド、カーテン等 養生方法(・ ビニルシート等 ・) ・ 保管場所(・ 図示による) ・ 固定された備品、机、ロッカー等の移動 ・ 図示による <p>既存部分に汚染又は損傷を与えるおそれのある場合は養生を行う。また、万一損傷を与えた場合は、受注者の責任において速やかに修復等の措置を行う。</p>																												
	・ 仮設間仕切り	<p>仮設間仕切り及び仮設扉の設置箇所 [2.3.2][表2.3.1]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図示による 仮設間仕切りの種別と材質等 <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>仕上げ(厚さmm)</th> <th>塗装</th> <th>充填</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ A種</td> <td>・ せっこうボード 種類(・) 厚さ(※ 9.5mm ・ mm)</td> <td>・ なし ・ 片面</td> <td>グラスウール 厚さ mm</td> </tr> <tr> <td>・ B種</td> <td>・ 合板 材質(・) 厚さ(※ 9mm ・ mm)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ C種</td> <td>防火シート</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>仮設間仕切りに設ける仮設扉の材質等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材質</th> <th>仕上げ</th> <th>塗装</th> <th>設置箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※ 木製</td> <td>※ 合板張り程度</td> <td>・ なし</td> <td>・ 場所</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・ 片面</td> <td>・ 図示による</td> </tr> </tbody> </table>	種別	仕上げ(厚さmm)	塗装	充填	・ A種	・ せっこうボード 種類(・) 厚さ(※ 9.5mm ・ mm)	・ なし ・ 片面	グラスウール 厚さ mm	・ B種	・ 合板 材質(・) 厚さ(※ 9mm ・ mm)			・ C種	防火シート			材質	仕上げ	塗装	設置箇所	※ 木製	※ 合板張り程度	・ なし	・ 場所	・	・	・ 片面	・ 図示による
	種別	仕上げ(厚さmm)	塗装	充填																										
	・ A種	・ せっこうボード 種類(・) 厚さ(※ 9.5mm ・ mm)	・ なし ・ 片面	グラスウール 厚さ mm																										
	・ B種	・ 合板 材質(・) 厚さ(※ 9mm ・ mm)																												
	・ C種	防火シート																												
	材質	仕上げ	塗装	設置箇所																										
	※ 木製	※ 合板張り程度	・ なし	・ 場所																										
・	・	・ 片面	・ 図示による																											
○ 監督職員事務所等	<p>監督職員事務所等 [2.4.1]</p> <ul style="list-style-type: none"> 建物 ・ 設置する ○ 設置しない 規模、仕上げの程度 ・ 現場説明書による 設備 ※ 監督職員との協議による ・ 現場説明書による 備品等の種類及び数量 ・ 現場説明書による 																													
○ 工事用水	<p>構内既存の施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 利用できない ○ 利用できる(・ 有償 ○ 無償) 																													
○ 工事用電力	<p>構内既存の施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 利用できない ○ 利用できる(・ 有償 ○ 無償) 																													
工事名称	福山市庁舎東棟他便所改修工事																													
図面名称	建築改修工事特記仕様書 No-1																													
	<p>福山市建設局建築部営繕課</p> <p>設計</p> <p>2026年 4月</p>	<p>縮尺率</p> <p>A1=100% A2= 71% A3= 50%</p> <p>図面No</p> <p>A-01</p>																												

Table with columns: 項目 (Item), 特記事項 (Remarks), and detailed construction specifications for waterproofing work, including materials and methods.

Table with columns: 項目 (Item), 特記事項 (Remarks), and detailed construction specifications for asphalt and waterproofing materials, including tables for material types and quantities.

Table with columns: 項目 (Item), 特記事項 (Remarks), and detailed construction specifications for waterproofing systems, including tables for material types and quantities.

Table with columns: 項目 (Item), 特記事項 (Remarks), and detailed construction specifications for finishing and protection work, including tables for material types and quantities.


Project information block including: 工事名称 (Project Name), 図面名称 (Drawing Name), 縮尺率 (Scale), 図面No (Drawing No), and a date stamp.

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項				
1	アルミニウム製 製建具	性能値等 耐風圧性の等級 () (建具符号・建具表による) 気密性の等級 () (建具符号・建具表による) 水密性の等級 () (建具符号・建具表による) 外部に面する建具の種類 ・ A種 (建具符号・建具表による) ・ B種 (建具符号・建具表による) ・ C種 (建具符号・建具表による) 枠の見込み寸法 (建具符号による) 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級 () (建具符号・建具表による) 断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級 () (建具符号・建具表による) 材料 ステンレス鋼板 ※ SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 ・ ステンレス製くつずりの仕上げ ※ HL ・ 形状及び仕上げ 表面処理 外部に面する建具 種類 ・ BB-1 ・ BB-2 (改修標準仕様書表 5.2.2) 着色 ・ 標準色 ・ 特注色 屋内の建具 種類 ・ BC-1 ・ BC-2 (改修標準仕様書表 5.2.2) 着色 ・ 標準色 ・ 特注色 結露水の処理方法 ・ 水貯め式 ・ 排水式 工法 水切り板、ぜん板 ※ 図示による	[5.2.2~5]	2	鋼製建具	性能値等 簡易気密型ドアセット ・ 適用する (建具符号・建具表による) ・ 適用しない 外部に面する建具の耐風圧性 耐風圧性の等級 () (建具符号・建具表による) 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級 () (建具符号・建具表による) 断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級 () (建具符号・建具表による) 耐震ドア 面内変形追随性の等級 () (建具符号・建具表による) 材料 ステンレス鋼板 ※ SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 ・ ステンレス製くつずりの仕上げ ※ HL ・ 点検口 ・ 形状及び仕上げ 鋼板の厚さ ※ 改修標準仕様書表 5.4.2による mm 使用箇所 () 標準型鋼製建具の形式及び寸法 ※ 建具表による	[5.4.2~6]	3	木製建具	建具材の加工、組立時の含水率 [5.7.2~4] ※ A種 ・ ・ フラッシュ戸 表面材のホルムアルデヒド放散量等 ※ 改修標準仕様書 5.7.2(2)(イ)(a)による 表面材の合板の種類 合板の種類 規格等 備考 ・ 普通合板 表面の樹種 () 板面の品質 (※ 広葉樹 1等) 接着の程度 (・ 1類 ・ 2類) ・ 天然木化粧合板 樹種名 () 接着の程度 (・ 1類 ・ 2類) ・ 特殊加工化粧合板 化粧加工の方法 ※ プリント ・ 接着の程度 (・ 1類 ・ 2類) ・ MDF 表裏面の状態による区分 () 曲げ強さによる区分 () 耐水性による区分 () 難燃性による区分 () 表面板の厚さ ※ 表 5.7.6による ・ かまち戸 かまち樹種 () 鏡板樹種 () 見込み寸法 ※ 36mm ・ 建具表による ・ ふすま 張り (・ I型 ・ II型) 上張り (押入等の裏側以外) ・ 鳥の子 ・ 新鳥の子又はビニル紙程度 縁仕上げ ・ 塗り縁 ・ 生地縁 (素地) ・ 生地縁 (ウレタンクリヤー塗装) 見込み寸法 ※ 19.5mm ・ 建具表による ・ 戸ふすま 表面板の仕上 ・ 建具表による 見込み寸法 ※ 30mm ・ 建具表による ・ 紙張り障子 見込み寸法 ※ 30mm ・ 建具表による 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ 枠、くつずりの材料 ・ 建具表による 定規模 (引戸)の合わせかまち ・ いんろう付き	[5.7.2~4]	4	自動ドア開閉装置	戸の開閉方式 [5.9.2] ・ 建具表による ・ 引き戸用駆動装置 性能値 ※ 改修標準仕様書表 5.9.1による (防錆 ・ 適用する ・ 適用しない) ・ 以下による 種類・開閉方式 () 耐電圧 () 温度上昇 () 耐久性 (サイクル) () 防錆 () 電源 () ・ 車椅子使用者用便所出入口引き戸用駆動装置 性能値 ※ 改修標準仕様書表 5.9.2による (防錆 ・ 適用する ・ 適用しない) ・ 以下による 耐電圧 () 温度上昇 () 耐久性 (サイクル) () 防錆 () 電源 () ・ 引き戸用検出装置 性能値 ※ 改修標準仕様書表 5.9.3による (防錆 ・ 適用する ・ 適用しない) ・ 以下による 放射線周波数電磁界耐性 () 耐電圧 () 防錆 () 防滴 () 電源 () 引き戸検出装置の種類は改修標準仕様書表 5.9.4により、適用箇所は建具表による タッチスイッチの種類 ・ 無線式タッチスイッチ ・ 光線式タッチスイッチ 車椅子使用者用便所スイッチの種類 ・ 大型押しボタンスイッチ ・ 非接触スイッチ 凍結防止措置 ・ 行う ・ 行わない	[5.9.2]
		網戸等	[5.2.3][5.3.3] 種類 材質 線径 網目 ・ 防虫網 ※ 合成樹脂製 ・ ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ ステンレス(SUS316)製 ・ 防鳥網 ステンレス(SUS304)線材 1.5mm 網目寸法15mm			[5.2.3][5.3.3]	5			鋼製軽量建具	性能値等 簡易気密型ドアセット ・ 適用する (建具符号・建具表による) ・ 適用しない 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級 () (建具符号・建具表による) 断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級 () (建具符号・建具表による) 耐震ドア 面内変形追随性の等級 () (建具符号・建具表による) 材料 鋼板 ・ 亜鉛めっき鋼板 ・ ビニル被覆鋼板 ・ カラー鋼板 ・ ステンレス鋼板 ステンレス鋼板 ※ SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 ・ 召合わせ、縦小口包み板の性質 ※ 鋼板 ・ ステンレス製くつずりの仕上げ ※ HL ・ 防音充填剤 ・ 適用する (充填材：グラスウール又はロックウール) ・ 適用しない 形状及び仕上げ 鋼板の厚さ ※ 改修標準仕様書表 5.5.1による mm 使用箇所 () 標準型鋼製軽量建具の形式及び寸法 ※ 建具表による			[5.5.2~6]	6
樹脂製建具	[5.3.2~5] 性能値等 耐風圧性の等級 () 気密性の等級 () 水密性の等級 () 外部に面する建具の種類 ・ A種 (建具符号・建具表による) ・ B種 (建具符号・建具表による) ・ C種 (建具符号・建具表による) 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級 (T-1 ・ T-2) (建具符号・建具表による) 断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級 (H-4 ・ H-5 ・ H-6 ・ H-7 ・ H-8) (建具符号・建具表による) 外部に面する建具の白射熱取得性の等級 ・ 枠の見込み寸法 ・ 建具表による ・ 材料 ガラス ※ 複層ガラス ・ ステンレス製くつずりの仕上げ ※ HL ・ 形状及び仕上げ 表面色 ・ 標準色 ・ 特注色 工法 水切り板、ぜん板 ※ 図示による	[5.3.2~5]	8	ステンレス製建具	性能値等 簡易気密型ドアセット ・ 適用する (建具符号・建具表による) ・ 適用しない 外部に面する建具の耐風圧性 耐風圧性の等級 () (建具符号・建具表による) 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級 () (建具符号・建具表による) 断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級 () (建具符号・建具表による) 耐震ドア 面内変形追随性の等級 () (建具符号・建具表による) 材料 ステンレス鋼板 ※ SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 ・ ステンレス製くつずりの仕上げ ※ HL ・ 形状及び仕上げ 表面仕上げ ※ HL ・ 鏡面仕上げ 工法 ステンレス鋼板の曲げ加工 ※ 普通曲げ ・ 角出し曲げ	[5.6.2~5]		9	重量シャッター		シャッターの種類 [5.11.2] ・ 管理用シャッター ・ 外壁用防火シャッター ・ 屋内用防火シャッター ・ 防煙シャッター 外壁開口部に設ける重量シャッターの耐風圧強度 () Pa 開閉方式の種類 ※ 電動式 (手動併用) ・ 手動式 安全装置 電動式シャッターの急降下制動装置、急降下停止装置 設置箇所 (・ 図示) 電動式シャッターの障害物感知装置 設置箇所 ・ 図示) 屋内用防火シャッター若しくは防煙シャッターの危害防止装置 (※ 危害防止装置・既設シャッターに改修により取り付ける可動座板式) 設置箇所 (・ 図示) 管理用シャッターのシャッターケース ・ 設ける ・ 設けない スラット及びシャッターケース用鋼板 鋼板の種類 ・ JIS G 3302 (溶融亜鉛めっき鋼板) ・ JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板) めっきの付着量 ※ Z12又はF12 ・ 軽量シャッター 開閉方式の種類 [5.12.2~4] ※ 手動式 ・ 上部電動式 (手動併用) 耐風圧強度 () Pa 安全装置 ・ 電動シャッターの急降下停止装置 設置箇所 (・ 建具表による) ※ 電動シャッターの障害物感知装置 設置箇所 (・ 図示) スラットの材質 ・ JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板) めっきの付着量 (※ Z06又はF06) ・ JIS G 3322 (塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板) めっきの付着量 (※ A290) スラットの形状 ・ インターロッキング形 ・ オーバーラッピング形	[5.11.2]			
10	工事名称 福山市庁舎東棟他便所改修工事 図面名称 建築改修工事特記仕様書 No-4	福山市建設局建築部管轄課 設計 2026年 4月			縮尺率 A1=100% A2= 71% A3= 50%	図面No A-04									

項目	特記事項																																																				
オーバークラウド	[5.13.2.3]																																																				
ドア	セクション材料による区分	耐風圧性能の区分	開閉方式による区分	収納形式による区分	ガイドレールの材質																																																
	※ スチールタイプ ・ アルミニウムタイプ ・ ファイバークラスタイプ	・ 50 ・ 75 ・ 100 ・ 125	※ バランス式 ・ チェーン式 ・ 電動式	・ スタンダード形 ・ ローヘッド形 ・ ハイリフト形 ・ パーチカル形	※ 溶融亜鉛めっき鋼板 ・ ステンレス鋼板																																																
ガラス	[3.7] [5.14.2~4]																																																				
	<p>電動式オーバークラウドの障害物感知装置 設置箇所 (・ 図示)</p> <p>フロント板ガラスの品種及び厚さの呼びによる種類 ・ 建具表による</p> <p>型板ガラスの厚さによる種類 ・ 建具表による</p> <p>網入り板ガラス及び線入り板ガラスの網又は線の形状、板の表面の状況及び厚さの呼びによる種類 ・ 建具表による</p> <p>合わせガラス 材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びにガラスの合計厚さ、特性による種類 ・ 建具表による</p> <p>強化ガラス 形状による種類、材料板ガラスの種類、厚さの呼びによる種類及び特性による種類 ・ 建具表による</p> <p>熱線吸収ガラス 板ガラスによる種類、厚さによる種類及び性能による種類 ・ 建具表による</p> <p>複層ガラス 材料板ガラスの種類、厚さの組合せ、複層ガラスの厚さ、断熱性による区分、日射取得性、日射遮蔽性による区分及び射入気体の種類 ・ 建具表による</p> <p>熱線反射ガラス 材料板ガラスの種類、厚さによる種類、日射遮蔽性による種類 ・ 建具表による</p> <p>倍強度ガラス 材料板ガラスの種類及び厚さによる種類 ・ 建具表による</p> <p>ガラスの留め材及び溝の大きさ</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>建具の種類</th> <th>ガラス留め材</th> <th>ガラス溝の大きさ (mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アルミニウム製</td> <td>・ シーリング材 ・ グレージングガスケット</td> <td>※ 建具の製造所の仕様による ・ 図示による</td> </tr> <tr> <td>鋼製及び鋼製軽量</td> <td>・ シーリング材</td> <td>※ 建具の製造所の仕様による ・ 図示による</td> </tr> <tr> <td>ステンレス製</td> <td>・ シーリング材</td> <td>※ 建具の製造所の仕様による ・ 図示による</td> </tr> <tr> <td>樹脂製</td> <td>・ グレージングガスケット</td> <td>※ 建具の製造所の仕様による ・ 図示による</td> </tr> </tbody> </table> <p>小口加工の仕上げの程度 ()</p> <p>ガラスブロック [5.14.5]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">表面形状</th> <th rowspan="2">呼び寸法 (mm)</th> <th rowspan="2">厚さ (mm)</th> <th colspan="2">目地幅 (mm)</th> <th rowspan="2">伸縮調整 目地の位置</th> <th rowspan="2">防火 性能</th> </tr> <tr> <th>平積み</th> <th>曲面積み</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">160×160</td> <td rowspan="2">160×160</td> <td>95</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>95</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">200×200</td> <td rowspan="2">200×200</td> <td>95</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>95</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>壁用金属枠及び補強材・形状 ・ 図示による</p> <p>力骨 材質 ※ ステンレス鋼 (SUS304)</p> <p>寸法 ※ 径5.5mm</p> <p>形状 ※ はしご形状複筋及び単筋</p> <p>化粧目地モルタルの色 (・ 白 ・ グレー) シーリングの種類 (・ SR-1 ・ PS-1) 金属製化粧カバー 材質 ・ ステンレス製 ・ アルミニウム製</p> <p>寸法 ・ 図示による</p> <p>形状 ・ 図示による</p> <p>目地部の横力骨の納まり ※ ガラスブロック製造所の仕様による ・ 図示による</p> <p>工法 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ・ 図示による</p>					建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ (mm)	アルミニウム製	・ シーリング材 ・ グレージングガスケット	※ 建具の製造所の仕様による ・ 図示による	鋼製及び鋼製軽量	・ シーリング材	※ 建具の製造所の仕様による ・ 図示による	ステンレス製	・ シーリング材	※ 建具の製造所の仕様による ・ 図示による	樹脂製	・ グレージングガスケット	※ 建具の製造所の仕様による ・ 図示による	表面形状	呼び寸法 (mm)	厚さ (mm)	目地幅 (mm)		伸縮調整 目地の位置	防火 性能	平積み	曲面積み	160×160	160×160	95					95					200×200	200×200	95					95				
建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ (mm)																																																			
アルミニウム製	・ シーリング材 ・ グレージングガスケット	※ 建具の製造所の仕様による ・ 図示による																																																			
鋼製及び鋼製軽量	・ シーリング材	※ 建具の製造所の仕様による ・ 図示による																																																			
ステンレス製	・ シーリング材	※ 建具の製造所の仕様による ・ 図示による																																																			
樹脂製	・ グレージングガスケット	※ 建具の製造所の仕様による ・ 図示による																																																			
表面形状	呼び寸法 (mm)	厚さ (mm)	目地幅 (mm)		伸縮調整 目地の位置	防火 性能																																															
			平積み	曲面積み																																																	
160×160	160×160	95																																																			
		95																																																			
200×200	200×200	95																																																			
		95																																																			

項目	特記事項																																																																																																																																																											
改修範囲	[6.1.3]																																																																																																																																																											
	<p>既存開口壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲 ※ 壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・ 図示による</p> <p>天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲 ※ 壁面より両側 600mm 程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・ 図示による</p> <p>既存天井の撤去に伴う取合い部の壁面の改修 ※ 既存のまま ・ 図示による</p>																																																																																																																																																											
既存床の撤去及び下地補修	[6.2.2]																																																																																																																																																											
	<p>ビニルシート等の撤去 ※ 仕上材のみ (接着剤とも) ・ 下地モルタルとも (・ 図示による ・ 撤去範囲全て)</p> <p>合成樹脂塗料の除去工法 ・ 機械的除去工法 ・ 目尻工法</p> <p>改修後の床の清掃範囲 ※ 図示による ○ 全面</p>																																																																																																																																																											
既存壁の撤去及び下地補修	[6.3.2]																																																																																																																																																											
	<p>開口壁撤去に伴う他の構造体の補修 ※ 改修標準仕様書 4.3.10によるモルタル塗り (塗り厚25mmを超える場合の処理 ※ 図示による)</p>																																																																																																																																																											
表面仕上げ (木下地)	[6.5.1]																																																																																																																																																											
	<p>見え掛り面の表面仕上げ ※ プレーナー加工 (施工箇所:) ・ 超自動機械かな (施工箇所:) ・ サンダー (施工箇所:)</p>																																																																																																																																																											
施工一般 (木下地)	[6.5.2]																																																																																																																																																											
	<p>材料のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆又は改修標準仕様書 6.5.2 (1) (ウ) (b) による</p>																																																																																																																																																											
製材 (木下地)	[6.5.2]																																																																																																																																																											
	<p>・ JAS 1083-5に基づく下地用製材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種名</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>等級</th> <th>含水率</th> <th>保存処理</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※ 2級</td> <td>※ A種</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・ B種</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・ JAS 1083-2に基づく造作用製材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種名</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>等級</th> <th>含水率</th> <th>保存処理</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>見え掛り面</td> <td></td> <td></td> <td>※ 上小節</td> <td>※ A種</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・</td> <td>・ B種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>見え掛り面以外</td> <td></td> <td></td> <td>※ 小節以上</td> <td>※ A種</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・</td> <td>・ B種</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・ JAS 1083-6に基づく広葉樹製材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種名</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>等級</th> <th>含水率</th> <th>保存処理</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※ 1等</td> <td>※ 10%以下</td> <td>・ A種</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・</td> <td>・ B種</td> </tr> </tbody> </table> <p>・ JAS 1083 (製材) 以外の製材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>材面の品質</th> <th>含水率</th> <th>防虫処理</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>()</td> <td>※ A種</td> <td>・ 行う</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>造作材の場合 (※ A種 ・ B種)</td> <td>・</td> <td>・ 行わない</td> </tr> </tbody> </table> <p>・ 造作用集材材 (木下地)</p> <p>・ JAS 1152Iに基づく造作用集材材 (品名) [6.5.2]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>樹種名</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>見付け材面の面積 (面数)</th> <th>見付け材面の品質</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>造作用集材材</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※ 1等</td> </tr> <tr> <td></td> <td>造作用集材材 (塗装) 1等</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・ 2等</td> </tr> <tr> <td></td> <td>造作用集材材 () 1等</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・ JAS 1152Iに基づく化粧ばり造作用集材材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種名</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>化粧薄板の厚さ (mm)</th> <th>見付け材面の面積 (面数)</th> <th>見付け材面の品質</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>化粧薄板:</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※ 1等</td> </tr> <tr> <td></td> <td>芯材:</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・ 2等</td> </tr> </tbody> </table> <p>・ JAS 1152以外の造作用集材材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種名</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>見付け材面の品質</th> <th>含水率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※ 15%以下</td> </tr> </tbody> </table> <p>・ JAS 1152以外の化粧ばり造作用集材材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種名</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>化粧薄板の厚さ (mm)</th> <th>見付け材面の面積 (面数)</th> <th>含水率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>化粧薄板:</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※ 15%以下</td> </tr> <tr> <td></td> <td>芯材:</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table>					施工箇所	樹種名	寸法 (mm)	等級	含水率	保存処理				※ 2級	※ A種	・					・ B種		施工箇所	樹種名	寸法 (mm)	等級	含水率	保存処理	見え掛り面			※ 上小節	※ A種	・				・	・ B種		見え掛り面以外			※ 小節以上	※ A種	・				・	・ B種		施工箇所	樹種名	寸法 (mm)	等級	含水率	保存処理				※ 1等	※ 10%以下	・ A種					・	・ B種	施工箇所	寸法 (mm)	材面の品質	含水率	防虫処理			()	※ A種	・ 行う			造作材の場合 (※ A種 ・ B種)	・	・ 行わない	施工箇所	品名	樹種名	寸法 (mm)	見付け材面の面積 (面数)	見付け材面の品質		造作用集材材				※ 1等		造作用集材材 (塗装) 1等				・ 2等		造作用集材材 () 1等					施工箇所	樹種名	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の面積 (面数)	見付け材面の品質		化粧薄板:				※ 1等		芯材:				・ 2等	施工箇所	樹種名	寸法 (mm)	見付け材面の品質	含水率					※ 15%以下	施工箇所	樹種名	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の面積 (面数)	含水率		化粧薄板:				※ 15%以下		芯材:				・
施工箇所	樹種名	寸法 (mm)	等級	含水率	保存処理																																																																																																																																																							
			※ 2級	※ A種	・																																																																																																																																																							
				・ B種																																																																																																																																																								
施工箇所	樹種名	寸法 (mm)	等級	含水率	保存処理																																																																																																																																																							
見え掛り面			※ 上小節	※ A種	・																																																																																																																																																							
			・	・ B種																																																																																																																																																								
見え掛り面以外			※ 小節以上	※ A種	・																																																																																																																																																							
			・	・ B種																																																																																																																																																								
施工箇所	樹種名	寸法 (mm)	等級	含水率	保存処理																																																																																																																																																							
			※ 1等	※ 10%以下	・ A種																																																																																																																																																							
				・	・ B種																																																																																																																																																							
施工箇所	寸法 (mm)	材面の品質	含水率	防虫処理																																																																																																																																																								
		()	※ A種	・ 行う																																																																																																																																																								
		造作材の場合 (※ A種 ・ B種)	・	・ 行わない																																																																																																																																																								
施工箇所	品名	樹種名	寸法 (mm)	見付け材面の面積 (面数)	見付け材面の品質																																																																																																																																																							
	造作用集材材				※ 1等																																																																																																																																																							
	造作用集材材 (塗装) 1等				・ 2等																																																																																																																																																							
	造作用集材材 () 1等																																																																																																																																																											
施工箇所	樹種名	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の面積 (面数)	見付け材面の品質																																																																																																																																																							
	化粧薄板:				※ 1等																																																																																																																																																							
	芯材:				・ 2等																																																																																																																																																							
施工箇所	樹種名	寸法 (mm)	見付け材面の品質	含水率																																																																																																																																																								
				※ 15%以下																																																																																																																																																								
施工箇所	樹種名	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の面積 (面数)	含水率																																																																																																																																																							
	化粧薄板:				※ 15%以下																																																																																																																																																							
	芯材:				・																																																																																																																																																							

項目	特記事項				
造作用単板積層材 (木下地)	[6.5.2]				
	施工箇所	品名	寸法 (mm)	表面の品質 (表面の化粧加工)	防虫処理
		造作用単板積層材 (未仕上げ)		・ 有り ・ 天然木化粧加工 ・ 塗装加工 ・ 無し ・ 1等 ・ 2等 ・ 3等	・ 行う ・ 行わない
	・ JAS 0701以外の造作用単板積層材				
	施工箇所	寸法 (mm)	表面の品質 (表面の化粧加工)	含水率	防虫処理
			・ 有り (加工 ・ 天然木化粧加工 ・ 塗装加工) ・ 無し (等級 ・ 1等 ・ 2等 ・ 3等)	※ 14%以下	・ 行う ・ 行わない
	・ JAS 3079Iに基づく直交集成板				
	施工箇所	品名	強度等級 (曲げ性能)	種別	接着性能 (使用環境)
		異等級構成直交集成板 直交集成板 同一等級構成直交集成板			・ A ・ B ・ C
	・ JAS 0233に基づく普通合板 (品名) [6.5.2]				
	施工箇所	厚さ (mm)	接着の程度	板面の品質	単板の樹種名
		※ 5.5	※ 1類 ・ 2類	広葉樹 ※ 2等以上 針葉樹 ※ C-D以上	・ 1等
					・ 行う ・ 行わない
	・ JAS 0233に基づく構造用合板 (品名)				
	施工箇所	厚さ (mm)	接着の程度	等級	板面の品質
		※ 12	(下記) ※ 2級以上 ・ 1級		※ C-D以上
					・ 行う ・ 行わない () ・ 指定しない
	接着の程度 常時湿潤状態となる場所での使用 ※特類 その他の場合 ※1類以上				
	・ JAS 0233に基づく化粧ばり構造用合板 (品名)				
	施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理
				常時湿潤状態となる場所での使用する場合、特類 その他の場合 (・ 特類 ・ 1類 ・)	・ 行う ・ 行わない
	・ JAS 0233に基づく天然木化粧合板				
	施工箇所	化粧合板に使用する単板の樹種名	厚さ (mm)	接着の程度	防虫処理
					・ 1類 ・ 2類 ・ 行う ・ 行わない
	・ JAS 0233に基づく特殊加工化粧合板 (品名)				
	施工箇所	厚さ (mm)	接着の程度	表面性能	単板の樹種名
			・ 1類 ・ 2類		・ オーバーレイ ・ プリント ・ 塗装 ・
					・ 行う ・ 行わない
	・ JIS A 5908に基づくパーティクルボード				
	施工箇所	種類	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分
			※ 13タイプ		・ Mタイプ ・ Pタイプ
					※ 15
	・ JAS 0360Iに基づく構造用パネル (品名)				
	施工箇所	厚さ (mm)			
	・ JIS A 5905Iに基づくMDF				
	施工箇所	厚さ (mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分
					難燃性による区分

項目	特記事項																					
接合具等 (木下地)	[6.5.3]																					
	<p>造作材の化粧面の釘打ち ※ 隠し釘打ち ・ 釘埋め木 ・ つぶし隠し釘打ち ・ 釘頭隠し 諸金物の形状、寸法及び材質 かすがい ※ 改修標準仕様書表 6.5.3に示す程度の市販品 ・ 産金 ※ 改修標準仕様書表 6.5.4に示す程度の市販品 ・ 箱金物及び短冊金物 ※ 改修標準仕様書表 6.5.5に示す程度の市販品 ・</p>																					
接着剤 (木下地)	[6.5.3.4]																					
	<p>接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆</p>																					
防虫・防蟻処理 (木下地)	[6.5.5]																					
	<p>工場における薬剤の加圧注入等 ・ 改修標準仕様書 6.5.5 (1) (a) ①による加圧注入</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>適用部材</th> <th>保存処理性能区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>・ K2 ・ K3 ・ K4</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ K2 ・ K3 ・ K4</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ K2 ・ K3 ・ K4</td> </tr> </tbody> </table> <p>・ 薬剤の塗布等による防虫・防蟻処理</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>適用部材</th> <th>処理の方法</th> <th>薬剤の種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>※ 薬剤の製造所の仕様による</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・ 薬剤の接着材への混入による防虫・防蟻処理 適用部位 ()</p> <p>合板等の加圧注入処理等の適用 適用部位 ()</p> <p>防虫処理の適用 適用部位 ()</p>		適用部材	保存処理性能区分		・ K2 ・ K3 ・ K4		・ K2 ・ K3 ・ K4		・ K2 ・ K3 ・ K4	適用部材	処理の方法	薬剤の種類		※ 薬剤の製造所の仕様による			・			・	
適用部材	保存処理性能区分																					
	・ K2 ・ K3 ・ K4																					
	・ K2 ・ K3 ・ K4																					
	・ K2 ・ K3 ・ K4																					
適用部材	処理の方法	薬剤の種類																				
	※ 薬剤の製造所の仕様による																					
	・																					
	・																					
不燃処理木材等 (木下地)	[6.5.5]																					
	<p>不燃材料処理木材等の適用 不燃材料 適用部位 () 準不燃材料 適用部位 () 難燃材料 適用部位 ()</p>																					
内部開口軸組及び床組 (木下地)	[6.5.6]																					
	<p>開口軸組に用いる木材の樹種名 (製材を用いる場合) ※ 杉又は松 床組に用いる木材の樹種名 (製材を用いる場合) ※ 杉又は松</p>																					
窓、出入口その他 (木下地)	[6.5.7]																					
	<p>窓、出入口その他に用いる木材の樹種名 (製材を用いる場合) ※ 吊元種、水掛りの下枠及び敷居はひのき、その他は松又は杉</p>																					
床板張り (木下地)	[6.5.8]																					
	<p>縁甲板及び上りがまに用いる木材の樹種名 (製材を用いる場合) ※ ひのき</p>																					
壁及び天井下地 (木下地)	[6.5.9]																					
	<p>壁及び天井下地に用いる木材の樹種名 (製材を用いる場合) ※ 杉または松</p>																					
軽量鉄骨天井下地	[6.6.2~4]																					
	<p>野縁等の種類 屋外 ※ 25形 ・ 19形 屋内 ※ 19形 ・ 25形</p> <p>屋外の形式及び寸法 野縁受、吊りボルト及びビーンサートの間隔 ・ 図示による 周辺部の種からの間隔 ・ 図示による 野縁の間隔 ・ 図示による</p> <p>既存の埋込みビーンサート ・ 使用する ・ 使用しない あと施工アンカーの確認試験 ・ 行う (試験箇所数 ※ 屋内の場合、当該間隔において3箇所 1箇所) (確認強度 ※ 吊りボルト受け等の間隔が900mm程度以下かつ天井面積構成部材等の単位面積あたりの質量が20kg/m²以内の天井の場合は400N程度)</p> <p>・ 行わない ・ 吊りボルトの間隔が900mmを超える場合 (補強方法 ※ 図示による) ・ 天井のふところ高が3.0mを超える場合 (補強方法 ※ 図示による) ・ 天井の下地材における耐震性を考慮した補強 (補強箇所 ※ 図示による) (補強方法 ※ 図示による) ・ 屋外の軒、ピロティ等の天井における耐風圧性を考慮した補強 (補強箇所 ※ 図示による) (補強方法 ※ 図示による)</p>																					
工事名称 福山市庁舎東棟他便所改修工事																						
図面名称 建築改修工事特記仕様書 No-5																						
 福山市建設局建築部管轄課 設計 2026年 4月		縮尺率 A1=100% A2=71% A3=50% 図面No A-05																				

章	項目	特記事項
○	軽量鉄骨壁下地	スタッド、ランナの種類 ※ 改修標準仕様書表 6.7.1 によるスタッドの高さによる区分に応じた種類 ・ 図示による スタッドの高さが5.0mを超える場合 ※ 図示による 出入口及びこれに準ずる開口部の補強 ※ 改修標準仕様書 6.7.4 (5) による
○	ビニル床シート	材料 種類 ※ FS 色柄 ・ 無地 ・ マーブル柄 ・ 柄物 厚さ (mm) ※ 2.0 備考
	接合部の処理	※ 熱溶接工法 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆
	ビニル床タイル	種類 ※ KT (コバジツの床タイル) ※ TT (単層ビニル床タイル) ※ FT (複層ビニル床タイル) ※ FDA (置敷きビニル床タイル) ※ FOB (薄型置敷きビニル床タイル)
	特殊機能床材	シート・タイルの種類 ・ 帯電防止床シート ・ 帯電防止床タイル ・ 視覚障害者用の床タイル ・ 耐衝撃性床シート ・ 防漏性床シート ・ 防汚性床タイル
	ビニル幅木	材質の種類 ・ 軟質 ・ 硬質 高さ (mm) ※ 60 ・ 75 ・ 100 厚さ (mm) ※ 1.5以上
	ゴム床タイル	種類 ・ 単層品 ・ 積層品 色柄 () 厚さ (mm) 寸法 (mm) () 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆
○	接着剤	接着剤の主成分による区分と施工箇所 ビニル床シート及びビニル床タイル ※ 改修標準仕様書表 6.8.1 による 施工箇所の下地が、セメント系下地及び木質系下地以外の場合 施工箇所 () 主成分による区分 () ゴム床タイル ※ 改修標準仕様書表 6.8.2 による 施工箇所の下地が、セメント系下地及び木質系下地以外の場合 施工箇所 () 主成分による区分 ()
	カーペット敷き	・ 織じゅうたん 織り方 ・ ウィルトンカーペット ・ フェイストゥフェイスカーペット ・ アキスミンスターカーペット バイル形状 ・ カットバイル ・ ループバイル ・ カット/ループ併用 帯電性 ・ 適用する ・ 適用しない
		色柄 ※ 模様のない無地 無地の織りじゅうたんの種類 (バイル系の種類等) ・ A種 ・ B種 ・ C種 織りじゅうたんの接合方法 ※ ヒートボンド工法 ・ つづり織い ・ タフテッドカーペット バイル形状 ・ カットバイル ・ ループバイル ・ カット、ループ併用 工法 ・ 全面接着工法 ・ グリッパール工法 帯電性 ・ 適用する ・ 適用しない 備考
		タフテッドカーペット用接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆

章	項目	特記事項
	タイルカーペット	バイルの形状 種類 ※ 第一種 ・ 第二種 施工箇所 寸法 (mm) ※ 500×500 総厚さ (mm) ※ 6.5 備考
	タイルカーペット用接着剤のホルムアルデヒド放散量	※ F☆☆☆☆ タイルカーペットの敷き方 平場 ※ 市松敷き ・ 模様流し ・ 階段部分 ※ 模様流し ・ 市松敷き ・ 下敷き材 ※ 反毛フェルト (JIS L 3204) の第212号 呼び厚さ 8mm 見切り、押え金物 材質 () 種類 () 形状等 ※ 図示による
	合成樹脂塗床	塗床材のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ 種類 施工箇所 工法 仕上げの種類 ・ 平滑仕上げ ・ 防汚仕上げ ・ つや消し仕上げ ・ 厚膜型塗床材 弾性ウレタン樹脂系塗床材 ・ 厚膜型塗床材 エポキシ樹脂系塗床材 ・ 厚膜型塗床材 ※ 平滑仕上げ
	フローリング張り	フローリングのホルムアルデヒド放散量等 ※ 改修標準仕様書 6.11.2 (2) による 単層フローリング 種類 工法 樹種 厚さ、幅、長さ ・ フローリング ・ 釘留め工法 (根太張り) ・ 釘留め工法 (直張り) ・ 接着工法 ※ 改修標準仕様書表 6.11.1 による ※ 改修標準仕様書表 6.11.3 による ※ 改修標準仕様書表 6.11.5 による ・ フローリング ・ フロック1等 厚さ ()、幅 () 長さ () 複合フローリング 種類 工法 樹種 厚さ、幅、長さ ・ 複合フローリング ・ 釘留め工法 (根太張り) ・ 釘留め工法 (直張り) ・ 接着工法 ※ 改修標準仕様書表 6.11.2 による ・ A種 ・ B種 ・ C種 ※ 改修標準仕様書表 6.11.4 による ・ A種 ・ B種 ・ C種 ※ 改修標準仕様書表 6.11.6 による ・ A種 ・ B種 ・ C種
	畳敷き	種類 ・ A種 (畳表： ・ JS (特等麻糸) ・ JI (1等麻糸)) ・ B種 ・ C種 (畳床： ・ PS-C20 ・ PS-C25 ・ PS-C30) ・ D種 (畳床： ・ KT-I ・ KT-II ・ KT-III ・ KT-K ・ KT-N) ・ 衝撃緩和型畳 (畳表： ・ C1 ・ C2)
		接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ 接着工法の場合の不陸緩和材 ※ 合成樹脂発泡シート 現場塗装仕上げ ※ 改修標準仕様書表 6.11.6 による
		接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ 天井のボード類(ロックウール吸音板を除く)の重ね張りを行う場合 ※ 図示による 合板類の張付け ・ A種 ・ B種 せっこうボードの目地工法等 目地工法の種類 ※ 仕上表による 突付け工法及び目直し工法のエッジの種類 ・ ベベルエッジ ・ スクエアエッジ
		ホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ 壁紙の種類 種類 壁紙の種類 紙 織物 塩化ビニル アクリル 無機質 その他 防火性能 備考
		接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ モルタル及びプラスター面の素地ごしらの種類 ※ B種 ・ A種 コンクリート面の素地ごしらの種類 ※ B種 ・ A種 せっこうボード面及び他のボード面の素地ごしらの種類 ※ B種 ・ A種

章	項目	特記事項
○	せっこうボード、その他ボード 及び合板張り	せっこうボード、その他ボード 規格名称 種類 厚さ (mm) 等 木質系 ・ 木毛セメント板 ・ 硬質 (HM) ・ 中質 (MM) ・ 普通 (NM) ※ 図示による ・ 15 ・ 20 ・ 25 セメント板 ・ 木片セメント板 ・ 硬質 (HF) ・ 普通 (NF) ※ 図示による ・ 12 ・ 15 ・ 18 ・ 21 ・ 30 繊維強化セメント板 ○ けい酸カルシウム板 (タイプ2) 普通ボード 0.8FK ※ 図示による ・ 6 ・ 8 火山性ガラス質複層板 ・ 火山性ガラス質複層板 ※ 図示による 繊維板 ・ ミディアムデンシティ ファイバーボード (MDF) ※ 図示による ・ 3 ・ 7 ・ 9 ・ 12 ・ ハードボード ※ 図示による ・ スタンダードボード (無処理) ・ 素地ハードボード ・ 未研磨板 (RM) ・ 研磨板 (RS) ・ 内装用化粧ハードボード (DI) ・ テンパードボード (処理) ・ 素地ハードボード ・ 未研磨板 (RM) ・ 研磨板 (RS) ・ 外装用化粧ハードボード (DE) ・ インシュレーションボード ・ A級インシュレーションボード (A-1B) ※ 図示による ・ 9 ・ 12 ・ 15 ・ 18 ・ 天井仕上げ材 ・ 内装仕上げ材 パーティクルボード ・ 単板張りパーティクルボード ※ 図示による ・ 10 ・ 12 ・ 15 ・ 18 ・ 無研磨板 (VN) ・ 研磨板 (VS) ・ 化粧パーティクルボード ・ 単板オーバーレイ (DV) ・ プラスティックオーバーレイ (DO) ・ 塗装 (DC) 吸音材料 ・ ロックウール化粧吸音板 (DR) ・ フラットタイプ ・ 凹凸タイプ ・ ロックウール吸音ボード (1号) ※ 図示による ・ 25 ・ グラスウール吸音ボード (32K) ・ 25 (ガラスクロス包) ・ せっこうボード (GB-R) ・ 12.5 (不燃) ・ 15 (不燃) ○ ケンゾウせっこうボード (GB-S) ○ 12.5 (不燃) ・ 準不燃 ・ 強化せっこうボード (GB-F) ・ 12.5 (不燃) ・ 15 (不燃) ・ 化粧せっこうボード (GB-D) ・ トラバーチン模様 9.5 (準不燃) ・ せっこうラスボード (GB-L) ・ 9.5 ・ 不燃積層せっこうボード (GB-NC) ・ 9.5 (不燃) ・ 化粧なし (下地張り用) ・ 化粧あり (トラバーチン模様)
		MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ 表面への化粧等加工 ※ 図示による 合板 種類 厚さ (mm) 等 防虫処理 ・ 普通合板 品名: 単板の樹種名: 板面の品質: ※ 5.5 ・ 図示による ・ 行わない ・ 天然木化粧合板 化粧板の単板の樹種名: ・ 特殊加工化粧合板 品名: 接着の種類: 単板の樹種名: 化粧加工の方法 ・ オール・イ ・ アソト ・ 塗装 ※ 図示による ・ 行わない ・ 行わない
		合板のホルムアルデヒド放散量 ※ 改修標準仕様書 6.13.2 (3) (イ) の (a) ~ (d) のいずれか 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ 天井のボード類(ロックウール吸音板を除く)の重ね張りを行う場合 ※ 図示による 合板類の張付け ・ A種 ・ B種 せっこうボードの目地工法等 目地工法の種類 ※ 仕上表による 突付け工法及び目直し工法のエッジの種類 ・ ベベルエッジ ・ スクエアエッジ
		ホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ 壁紙の種類 種類 壁紙の種類 紙 織物 塩化ビニル アクリル 無機質 その他 防火性能 備考
		接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ モルタル及びプラスター面の素地ごしらの種類 ※ B種 ・ A種 コンクリート面の素地ごしらの種類 ※ B種 ・ A種 せっこうボード面及び他のボード面の素地ごしらの種類 ※ B種 ・ A種


章	項目	特記事項
	モルタル塗り	モルタル ・ 現場調合材料 ・ 既調合材料 既製目地材 ・ 設ける 施工箇所 () 形状 (※ 図示による) ・ 設けない 壁面の仕上げ厚又は全塗り厚が25mmを超える場合の下地処理 床の目地 ・ 設ける 目地割り ※ 2m程度 (最大目地間隔 ※ 3m程度) ・ 目地の種類 ※ 押し目地 ・ 設けない
○	タイル張り	伸縮目地の位置 床タイル (※ 縦、横とも4m以内ごと 図示による) 床タイル以外 (図示による) 見本焼き ・ 行う (施工箇所:) ○ 行わない 試験張り ・ 行う (範囲、仕様等は図示による) ○ 行わない ・ セメントモルタルによるタイル (セラミックタイル) 張り タイルの形状、寸法等 施工箇所 形状/寸法 (mm) 再生材料の適用 吸水率による区分 I類 II類 III類 うわぐすり 無ゆる 有 無 標準 特注 有 無 り性 備考
		標準的な曲りの設物は一体成形とする 既調合モルタル (品質・性能・試験方法は別表による) モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、 混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。 既調合目地材 (品質・性能・試験方法は別表による) 下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の下地調整の方法 () 壁タイル張りの工法 内装タイル ・ 密着張り ・ 改良圧着張 内装タイル以外のユニットタイル ・ マスク張り ・ モザイクタイル張り
		○ 有種接着剤によるタイル (セラミックタイル) 張り タイルの形状、寸法等 施工箇所 形状/寸法 (mm) 再生材料の適用 吸水率による区分 I類 II類 III類 うわぐすり 無ゆる 有 無 標準 特注 有 無 り性 備考
		標準的な曲りの設物は一体成形とする 内装タイル接着剤張りの接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ 壁厚 (mm) セルフレベリング材塗り
7	材料	屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ 防火材料 ※ 屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。 ・ 次の箇所を除き防火材料とする。(箇所:)
	下地調整	塗替え防壁の場合の既存塗膜の除去範囲 ・ 図示による 下地面の種類 下地調整の種類 塗替え ひび割れ部の補修
		木部 ※ RB種 鉄鋼面 ※ RB種 亜鉛めっき鋼面 ※ RB種 亜鉛めっき鋼面 (鋼製建具等) ※ RB種 モルタル、プラスター面 ※ RB種 コンクリート面 (DP以外)、 ALCパネル面 ※ RB種 押出成形セメント板面、 コンクリート面 (DP) ※ RB種 せっこうボード面及び その他ボード面 ※ RB種
		工事名称 福山市庁舎東棟他便所改修工事 図面名称 建築改修工事特記仕様書 No-6 縮尺率 A1=100% A2= 71% A3= 50% 図面No A-06 設計 2026年 4月

章	項目	特記事項																																																																																																																		
8-1	・ 素地ごしらえ	[7.3.2~7.3.7]																																																																																																																		
		<table border="1"> <tr> <th colspan="2">下地面等</th> <th colspan="2">種別</th> </tr> <tr> <td>木部</td> <td>不透明塗料塗りの場合</td> <td>※ A種</td> <td>・ B種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>透明塗料塗りの場合</td> <td>※ B種</td> <td>・ A種</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面 (DP以外)</td> <td></td> <td>※ C種</td> <td>・ A種</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面 (DP)</td> <td></td> <td>※ B種</td> <td>・ A種</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき鋼面</td> <td></td> <td>・ A種</td> <td>・ B種</td> </tr> <tr> <td>モルタル面及び石膏面</td> <td></td> <td>※ B種</td> <td>・ A種</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面 (DP以外) 及びALCパネル面</td> <td></td> <td>※ B種</td> <td>・ A種</td> </tr> <tr> <td>押出成形セメント板面及びコンクリート面 (DP)</td> <td></td> <td>※ B種</td> <td>・ A種</td> </tr> <tr> <td>せつこうボード面及びその他ボード面</td> <td></td> <td>※ B種</td> <td>・ A種</td> </tr> </table>	下地面等		種別		木部	不透明塗料塗りの場合	※ A種	・ B種		透明塗料塗りの場合	※ B種	・ A種	鉄鋼面 (DP以外)		※ C種	・ A種	鉄鋼面 (DP)		※ B種	・ A種	亜鉛めっき鋼面		・ A種	・ B種	モルタル面及び石膏面		※ B種	・ A種	コンクリート面 (DP以外) 及びALCパネル面		※ B種	・ A種	押出成形セメント板面及びコンクリート面 (DP)		※ B種	・ A種	せつこうボード面及びその他ボード面		※ B種	・ A種																																																																										
下地面等		種別																																																																																																																		
木部	不透明塗料塗りの場合	※ A種	・ B種																																																																																																																	
	透明塗料塗りの場合	※ B種	・ A種																																																																																																																	
鉄鋼面 (DP以外)		※ C種	・ A種																																																																																																																	
鉄鋼面 (DP)		※ B種	・ A種																																																																																																																	
亜鉛めっき鋼面		・ A種	・ B種																																																																																																																	
モルタル面及び石膏面		※ B種	・ A種																																																																																																																	
コンクリート面 (DP以外) 及びALCパネル面		※ B種	・ A種																																																																																																																	
押出成形セメント板面及びコンクリート面 (DP)		※ B種	・ A種																																																																																																																	
せつこうボード面及びその他ボード面		※ B種	・ A種																																																																																																																	
8-1	・ 錆止め塗料塗り	[7.4.2~7.4.3]																																																																																																																		
		<table border="1"> <tr> <th colspan="2">素地面</th> <th colspan="2">塗料の種類</th> <th colspan="2">塗料の種類</th> <th colspan="2">工程の種類</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">鉄鋼面</td> <td>SOP</td> <td>塗替え</td> <td>As種</td> <td>※ C種</td> <td>・</td> <td>新規</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>錆止め塗料のまま (工程の種類は表7.4.3)</td> <td>新規見え隠れ</td> <td>As種</td> <td>※ A種</td> <td>・</td> <td>新規</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">亜鉛めっき鋼面</td> <td>EP-G</td> <td>塗替え</td> <td>※ Bs種</td> <td>・ As種</td> <td>※ C種</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>(工程の種類は表7.4.3)</td> <td>新規見え隠れ</td> <td>※ Bs種</td> <td>・ As種</td> <td>※ A種</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">DP</td> <td>塗替え</td> <td>7.4.2(1)(イ)</td> <td>・ B種(下地調整R種)</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>(工程の種類は表7.4.4)</td> <td>新規</td> <td>7.4.2(1)(イ)</td> <td>・ A種</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">SOP</td> <td>塗替え</td> <td>鋼製建具等</td> <td>※ A種</td> <td>・ B種</td> <td>※ C種</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>(工程の種類は表7.4.5)</td> <td>規</td> <td>※ B種</td> <td>・</td> <td>※ B種</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">EP-G</td> <td>塗替え</td> <td>鋼製建具等</td> <td>※ A種</td> <td>・ B種</td> <td>※ A種</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>(工程の種類は表7.4.5)</td> <td>規</td> <td>※ B種</td> <td>・</td> <td>※ B種</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">DP</td> <td>塗替え</td> <td>鋼製建具等</td> <td>※ A種</td> <td>・ B種</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>(工程の種類は表7.4.6)</td> <td>新規</td> <td>※ B種</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table>	素地面		塗料の種類		塗料の種類		工程の種類		鉄鋼面	SOP	塗替え	As種	※ C種	・	新規	・	錆止め塗料のまま (工程の種類は表7.4.3)	新規見え隠れ	As種	※ A種	・	新規	・	亜鉛めっき鋼面	EP-G	塗替え	※ Bs種	・ As種	※ C種	・	・	(工程の種類は表7.4.3)	新規見え隠れ	※ Bs種	・ As種	※ A種	・	・	DP	塗替え	7.4.2(1)(イ)	・ B種(下地調整R種)	・	・	・	・	(工程の種類は表7.4.4)	新規	7.4.2(1)(イ)	・ A種	・	・	・	SOP	塗替え	鋼製建具等	※ A種	・ B種	※ C種	・	・	(工程の種類は表7.4.5)	規	※ B種	・	※ B種	・	・	EP-G	塗替え	鋼製建具等	※ A種	・ B種	※ A種	・	・	(工程の種類は表7.4.5)	規	※ B種	・	※ B種	・	・	DP	塗替え	鋼製建具等	※ A種	・ B種	・	・	・	(工程の種類は表7.4.6)	新規	※ B種	・	・	・	・																
素地面		塗料の種類		塗料の種類		工程の種類																																																																																																														
鉄鋼面	SOP	塗替え	As種	※ C種	・	新規	・																																																																																																													
	錆止め塗料のまま (工程の種類は表7.4.3)	新規見え隠れ	As種	※ A種	・	新規	・																																																																																																													
亜鉛めっき鋼面	EP-G	塗替え	※ Bs種	・ As種	※ C種	・	・																																																																																																													
	(工程の種類は表7.4.3)	新規見え隠れ	※ Bs種	・ As種	※ A種	・	・																																																																																																													
DP	塗替え	7.4.2(1)(イ)	・ B種(下地調整R種)	・	・	・	・																																																																																																													
	(工程の種類は表7.4.4)	新規	7.4.2(1)(イ)	・ A種	・	・	・																																																																																																													
SOP	塗替え	鋼製建具等	※ A種	・ B種	※ C種	・	・																																																																																																													
	(工程の種類は表7.4.5)	規	※ B種	・	※ B種	・	・																																																																																																													
EP-G	塗替え	鋼製建具等	※ A種	・ B種	※ A種	・	・																																																																																																													
	(工程の種類は表7.4.5)	規	※ B種	・	※ B種	・	・																																																																																																													
DP	塗替え	鋼製建具等	※ A種	・ B種	・	・	・																																																																																																													
	(工程の種類は表7.4.6)	新規	※ B種	・	・	・	・																																																																																																													
8-1	・ 塗装	[7.5.2~7.13.2]																																																																																																																		
		<table border="1"> <tr> <th colspan="2">塗装の種類</th> <th colspan="2">塗装面</th> <th colspan="2">工程</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ 合成樹脂塗料 (ベイント塗り) (SOP)</td> <td>木部屋外</td> <td>※ B種</td> <td>・</td> <td>※ A種</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>木部屋内</td> <td>※ B種</td> <td>・</td> <td>※ B種</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ 1種</td> <td>鉄鋼面</td> <td>※ B種</td> <td>・</td> <td>※ B種</td> <td>・ A種</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき鋼面 (鋼製建具)</td> <td>※ A種</td> <td>・</td> <td>※ B種</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ 2種</td> <td>亜鉛めっき鋼面 (鋼製建具以外)</td> <td>※ B種</td> <td>・</td> <td>※ B種</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>クリヤラッカー塗り (GL)</td> <td>※ B種</td> <td>・</td> <td>※ B種</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ アクリル樹脂系非水分散形塗料 (NAD)</td> <td>鉄鋼面</td> <td>※ B種</td> <td>・</td> <td>※ B種</td> <td>・ A種</td> </tr> <tr> <td>上塗り等級 () 級</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ 耐候性塗料 (DP)</td> <td>亜鉛めっき鋼面</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>上塗り等級 () 級</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ つや有合成樹脂エマルジョンベイント塗り (EP-G)</td> <td>コンクリート面等</td> <td>・ B種</td> <td>・ C種</td> <td>・ A種</td> <td>・ B種</td> </tr> <tr> <td>屋内の木部</td> <td>※ B種</td> <td>・</td> <td>※ A種</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ 合成樹脂エマルジョンベイント塗り (EP)</td> <td>屋内の鉄鋼面</td> <td>※ B種</td> <td>・</td> <td>・ A種</td> <td>・ B種</td> </tr> <tr> <td>屋内の亜鉛めっき鋼面</td> <td>※ B種</td> <td>・</td> <td>※ A種</td> <td>・ B種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ ウレタン樹脂ワニス塗り (UC)</td> <td>※ B種</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・ A種</td> <td>・ B種</td> </tr> <tr> <td>※ B種</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>※ B種</td> <td>・ A種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ ビグメントステイン塗り</td> <td>※ B種</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>※ B種</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>※ B種</td> <td>・ A種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ 木材保護塗料 (WP)</td> <td>※ B種</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>※ B種</td> <td>・ A種</td> </tr> <tr> <td>※ B種</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table>	塗装の種類		塗装面		工程		・ 合成樹脂塗料 (ベイント塗り) (SOP)	木部屋外	※ B種	・	※ A種	・	木部屋内	※ B種	・	※ B種	・	・ 1種	鉄鋼面	※ B種	・	※ B種	・ A種	亜鉛めっき鋼面 (鋼製建具)	※ A種	・	※ B種	・	・ 2種	亜鉛めっき鋼面 (鋼製建具以外)	※ B種	・	※ B種	・	クリヤラッカー塗り (GL)	※ B種	・	※ B種	・	・ アクリル樹脂系非水分散形塗料 (NAD)	鉄鋼面	※ B種	・	※ B種	・ A種	上塗り等級 () 級	・	・	・	・	・ 耐候性塗料 (DP)	亜鉛めっき鋼面	・	・	・	・	上塗り等級 () 級	・	・	・	・	・ つや有合成樹脂エマルジョンベイント塗り (EP-G)	コンクリート面等	・ B種	・ C種	・ A種	・ B種	屋内の木部	※ B種	・	※ A種	・	・ 合成樹脂エマルジョンベイント塗り (EP)	屋内の鉄鋼面	※ B種	・	・ A種	・ B種	屋内の亜鉛めっき鋼面	※ B種	・	※ A種	・ B種	・ ウレタン樹脂ワニス塗り (UC)	※ B種	・	・	・ A種	・ B種	※ B種	・	・	※ B種	・ A種	・ ビグメントステイン塗り	※ B種	・	・	・	・	※ B種	・	・	※ B種	・ A種	・ 木材保護塗料 (WP)	※ B種	・	・	※ B種	・ A種	※ B種	・	・
塗装の種類		塗装面		工程																																																																																																																
・ 合成樹脂塗料 (ベイント塗り) (SOP)	木部屋外	※ B種	・	※ A種	・																																																																																																															
	木部屋内	※ B種	・	※ B種	・																																																																																																															
・ 1種	鉄鋼面	※ B種	・	※ B種	・ A種																																																																																																															
	亜鉛めっき鋼面 (鋼製建具)	※ A種	・	※ B種	・																																																																																																															
・ 2種	亜鉛めっき鋼面 (鋼製建具以外)	※ B種	・	※ B種	・																																																																																																															
	クリヤラッカー塗り (GL)	※ B種	・	※ B種	・																																																																																																															
・ アクリル樹脂系非水分散形塗料 (NAD)	鉄鋼面	※ B種	・	※ B種	・ A種																																																																																																															
	上塗り等級 () 級	・	・	・	・																																																																																																															
・ 耐候性塗料 (DP)	亜鉛めっき鋼面	・	・	・	・																																																																																																															
	上塗り等級 () 級	・	・	・	・																																																																																																															
・ つや有合成樹脂エマルジョンベイント塗り (EP-G)	コンクリート面等	・ B種	・ C種	・ A種	・ B種																																																																																																															
	屋内の木部	※ B種	・	※ A種	・																																																																																																															
・ 合成樹脂エマルジョンベイント塗り (EP)	屋内の鉄鋼面	※ B種	・	・ A種	・ B種																																																																																																															
	屋内の亜鉛めっき鋼面	※ B種	・	※ A種	・ B種																																																																																																															
・ ウレタン樹脂ワニス塗り (UC)	※ B種	・	・	・ A種	・ B種																																																																																																															
	※ B種	・	・	※ B種	・ A種																																																																																																															
・ ビグメントステイン塗り	※ B種	・	・	・	・																																																																																																															
	※ B種	・	・	※ B種	・ A種																																																																																																															
・ 木材保護塗料 (WP)	※ B種	・	・	※ B種	・ A種																																																																																																															
	※ B種	・	・	・	・																																																																																																															
8-1	・ 鉄筋	[8.2.1]																																																																																																																		
		<table border="1"> <tr> <th colspan="2">鉄筋の種類等</th> <th colspan="2">呼び径 (mm)</th> <th colspan="2">備考</th> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>記号</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>SD295</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>SD345</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	鉄筋の種類等		呼び径 (mm)		備考		種類	記号					・	SD295					・	SD345					・						・																																																																																			
鉄筋の種類等		呼び径 (mm)		備考																																																																																																																
種類	記号																																																																																																																			
・	SD295																																																																																																																			
・	SD345																																																																																																																			
・																																																																																																																				
・																																																																																																																				
8-1	・ 溶接金網	[8.2.2]																																																																																																																		
		<table border="1"> <tr> <th colspan="2">鉄筋の形状等</th> <th colspan="2">鉄線の形状、網目寸法、鉄線の径 (mm)</th> <th colspan="2">使用部位</th> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>種類の記号</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>溶接金網</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	鉄筋の形状等		鉄線の形状、網目寸法、鉄線の径 (mm)		使用部位		種類	種類の記号					・	溶接金網					・																																																																																															
鉄筋の形状等		鉄線の形状、網目寸法、鉄線の径 (mm)		使用部位																																																																																																																
種類	種類の記号																																																																																																																			
・	溶接金網																																																																																																																			
・																																																																																																																				
8-1	・ 加工	[8.3.2]																																																																																																																		
		・ 鉄筋の折曲げ角度が90°未満の内法直径φ()以上																																																																																																																		

章	項目	特記事項																																		
8-2	・ 鉄筋の継手及び定着	[8.3.4]																																		
		<table border="1"> <tr> <th colspan="2">鉄筋の継手の方法等</th> <th colspan="2">継手方法</th> <th colspan="2">呼び径 (mm)</th> </tr> <tr> <td>部位</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>柱、梁の主筋</td> <td>・ ガス圧接</td> <td>・ 機械式継手</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 溶接継手</td> <td>・ 重ね継手</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>耐力壁の鉄筋</td> <td>・ 重ね継手</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>その他の鉄筋 ()</td> <td>・ 重ね継手</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table>	鉄筋の継手の方法等		継手方法		呼び径 (mm)		部位						柱、梁の主筋	・ ガス圧接	・ 機械式継手	・	・	・		・ 溶接継手	・ 重ね継手	・	・	・	耐力壁の鉄筋	・ 重ね継手	・	・	・	・	その他の鉄筋 ()	・ 重ね継手	・	・
鉄筋の継手の方法等		継手方法		呼び径 (mm)																																
部位																																				
柱、梁の主筋	・ ガス圧接	・ 機械式継手	・	・	・																															
	・ 溶接継手	・ 重ね継手	・	・	・																															
耐力壁の鉄筋	・ 重ね継手	・	・	・	・																															
その他の鉄筋 ()	・ 重ね継手	・	・	・	・																															
8-2	・ 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔 (溶接金網を含む)	[8.3.5]																																		
		<p>最小かぶり厚さ</p> <p>※ 改修標準仕様書 8.3.5(1)による</p> <p>・ 図示による ()</p> <p>・ 軽量コンクリートを適用する場合</p> <p>・ あり 適用箇所 ()</p> <p>・ 改修標準仕様書 表 8.3.6 の最小かぶり厚さに加える厚さ ()mm</p> <p>・ 耐久性上不利な箇所がある場合 (塩害等を受けるおそれのある部分等)</p> <p>・ あり 適用箇所 ()</p> <p>・ 最小かぶり厚さに加える厚さ ()mm</p>																																		
8-2	・ 壁の配筋及び補強	[8.3.6]																																		
		<p>壁の配筋及び壁開口部の補強</p> <p>・ 図示による</p>																																		
8-2	・ 圧接完了後の圧接部の試験	[8.3.8]																																		
		<p>超音波探傷試験</p> <p>※ 行う (全圧接部)</p>																																		
8-2	・ 機械式継手	[8.4.2]																																		
		<p>適用箇所</p> <p>・ 図示による ()</p> <p>H12建令第1463号に適合する性能</p> <p>・ A級</p> <p>・</p> <p>鉄筋相互のあき</p> <p>・ 図示による</p> <p>施工完了後の継手部の試験</p> <p>・ 外観試験</p> <p>試験対象</p> <p>※ 全数</p> <p>試験項目及び合否判定</p> <p>※ 改修標準仕様書 表 8.4.1~表 8.4.3 による</p> <p>・ 評定等の評価内容による</p> <p>不合格となった場合の措置</p> <p>※ 改修標準仕様書 8.4.2(5)(ア) (a)~(c) による</p> <p>・ 図示による ()</p> <p>・ 超音波測定試験</p> <p>試験対象</p> <p>・ 抜き取り</p> <p>ロットの大きさ ()</p> <p>試験箇所数: ()箇所/ロット</p> <p>全数</p> <p>不合格となった場合の措置</p> <p>・ 図示による ()</p>																																		
8-2	・ 溶接継手	[8.4.3]																																		
		<p>適用箇所</p> <p>・ 図示による ()</p> <p>H12建令第1463号に適合する性能</p> <p>・ A級</p> <p>・</p> <p>溶接継手の性能、工法</p> <p>・ 図示による ()</p> <p>鉄筋相互のあき</p> <p>・ 図示による ()</p> <p>施工完了後の継手部の試験</p> <p>・ 外観試験</p> <p>試験対象</p> <p>※ 全数</p> <p>試験項目</p> <p>試験方法</p> <p>・</p> <p>不合格となった場合の措置</p> <p>・</p> <p>・ 超音波探傷試験</p> <p>試験対象</p> <p>・</p> <p>不合格となった場合の措置</p> <p>・ 図示による ()</p>																																		

章	項目	特記事項																																																																				
8-2	・ コンクリートの種類	[8.1.3]																																																																				
		<p>コンクリートの種類</p> <p>※ 1類 (JIS A 5308への適合を認証されたコンクリート)</p> <p>・ 2類 (1類以外でJIS A 5308に適合したコンクリート)</p> <p>建築基準法第37条第二号の規定に基づき国土交通大臣の認定を受けたコンクリート</p> <p>適用箇所 ()</p>																																																																				
8-2	・ コンクリートの品質、調合	[8.1.4][8.2.5][8.9.2]																																																																				
		<table border="1"> <tr> <th colspan="2">普通コンクリート</th> <th colspan="2">スラブ</th> <th colspan="2">気乾単位容積質量</th> <th colspan="2">適用箇所</th> </tr> <tr> <td>設計基準強度 (N/mm²)</td> <td></td> <td>(cm)</td> <td></td> <td>(t/m³)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 24</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>構造体強度補正値 ※ 改修標準仕様書表 8.2.4 による</p> <p>・ 軽量コンクリート</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">設計基準強度 (N/mm²)</th> <th colspan="2">スラブ (cm)</th> <th colspan="2">気乾単位容積質量 (t/m³)</th> <th colspan="2">種類</th> <th colspan="2">適用箇所</th> </tr> <tr> <td>・</td> <td>※ 21</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1種</td> <td>・</td> <td>2種</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	普通コンクリート		スラブ		気乾単位容積質量		適用箇所		設計基準強度 (N/mm ²)		(cm)		(t/m ³)				・ 24								・								・								設計基準強度 (N/mm ²)		スラブ (cm)		気乾単位容積質量 (t/m ³)		種類		適用箇所		・	※ 21						1種	・	2種	・							
普通コンクリート		スラブ		気乾単位容積質量		適用箇所																																																																
設計基準強度 (N/mm ²)		(cm)		(t/m ³)																																																																		
・ 24																																																																						
・																																																																						
・																																																																						
設計基準強度 (N/mm ²)		スラブ (cm)		気乾単位容積質量 (t/m ³)		種類		適用箇所																																																														
・	※ 21						1種	・	2種																																																													
・																																																																						
8-2	・ セメント	[8.2.5]																																																																				
		<p>種類</p> <p>※ 普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種</p> <p>適用箇所 ()</p> <p>・ 高炉セメントB種</p> <p>適用箇所 ()</p> <p>・ フライアッシュセメントB種</p> <p>適用箇所 ()</p>																																																																				
8-2	・ 骨材	[8.2.5]																																																																				
		<p>フェロニッケル系スラグ骨材、銅スラグ骨材及び電気炉融骨材</p> <p>・ 使用する</p> <p>普通エコセメントを使用するコンクリートの骨材</p> <p>・ 再生骨材Hを使用する</p> <p>アルカリシリカ反応性による区分</p> <p>※ A ・ B</p>																																																																				
8-2	・ 混和材料	[8.2.5]																																																																				
		<p>・ 混和剤</p> <p>混和剤の種類</p> <p>※ 改修標準仕様書 8.2.5(4)(ア)による</p> <p>・ 混和材</p> <p>混和材の種類</p> <p>※ 改修標準仕様書 8.2.5(4)(イ)による</p> <p>改修標準仕様書 8.2.5(5)(イ)(f)④の①~③以外の混和材料</p> <p>・ 混和剤 () ・ 混和材 ()</p> <p>使用方法</p> <p>・</p> <p>使用量</p> <p>・</p>																																																																				
8-2	・ 構造体用モルタル	[8.2.6]																																																																				
		<p>構造体用モルタル</p> <p>圧縮強度 ()</p> <p>フロー値 ()</p>																																																																				
8-2	・ 暑中コンクリート	[8.10.2]																																																																				
		<p>スラブ</p> <p>※ 21m</p> <p>構造体強度補正値</p> <p>※ 改修標準仕様書 表 8.10.1 による</p>																																																																				
8-2	・ 無筋コンクリート	[8.11.1]																																																																				
		<p>コンクリートの種類</p> <p>※ 普通コンクリート</p> <p>設計基準強度</p> <p>※ 18N/mm²</p> <p>スラブ</p> <p>※ 15cm又は18cm</p> <p>適用箇所</p> <p>・ 図示による ()</p> <p>改修標準仕様書 表 8.1.1 以外のコンクリートを用いる場合</p> <p>()</p>																																																																				
8-2	・ 構造体コンクリートの仕上り	[8.1.4]																																																																				
		<table border="1"> <tr> <th colspan="2">合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ</th> <th colspan="2">適用箇所</th> </tr> <tr> <td>種別</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ A種</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ B種</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ C種</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>コンクリートの仕上りの平たんさ</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">種別</th> <th colspan="2">適用箇所</th> </tr> <tr> <td>・ e種</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ b種</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ c種</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ		適用箇所		種別				・ A種				・ B種				・ C種				種別		適用箇所		・ e種				・ b種				・ c種																																			
合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ		適用箇所																																																																				
種別																																																																						
・ A種																																																																						
・ B種																																																																						
・ C種																																																																						
種別		適用箇所																																																																				
・ e種																																																																						
・ b種																																																																						
・ c種																																																																						
8-2	・ 型枠の材料	[8.2.7]																																																																				
		<p>せき板の材料及び厚さ</p> <p>・ 合板 (※ 12mm)</p> <p>・</p> <p>スリーブの材質・規格等</p> <p>・ 図示による ()</p>																																																																				
8-2	・ 打増し厚さ (打放し仕上げ部)	[8.7.8]																																																																				
		<p>打増し厚さ</p> <p>・ 打放し仕上げの打増し厚さ(外部に面する部分に限る)</p> <p>・ 20mm</p> <p>打増し範囲</p> <p>・ 図示による</p>																																																																				
8-2	・ 型枠の加工及び組立	[8.7.8]																																																																				
		<p>シアコネクタをセパレーターとして使用</p> <p>使用箇所</p> <p>・ 図示による ()</p>																																																																				
8-2	・ 型枠の存置期間及び取外し	[8.7.8]																																																																				
		<p>普通エコセメントの場合の最小存置期間</p> <p>・</p>																																																																				


章	項目	特記事項																										
8-3	・ あと施工アンカー	[8.2.4]																										
		<p>材料等</p> <p>・ 金属系アンカー</p> <p>・ 引張耐力</p> <p>・ KN</p> <p>・ 図示による ()</p> <p>・ セン断耐力</p> <p>・ KN</p> <p>・ 図示による ()</p> <p>アンカー本体の径及び埋込み長さ</p> <p>・ 図示による ()</p> <p>・ セット方式</p> <p>※ 本体打込み式改良型</p> <p>接合部の種類、径、長さ</p> <p>・ 図示による ()</p> <p>・ 性能確認試験</p> <p>試験方法及び試験数</p> <p>・ 図示による ()</p> <p>・ 接着系アンカー</p> <p>・ 引張耐力</p> <p>・ KN</p> <p>・ 図示による ()</p> <p>・ セン断耐力</p> <p>・ KN</p> <p>・ 図示による ()</p> <p>アンカーの種類 ※ カプセル方式回転打撃式</p> <p>接着剤の品質</p> <p>・ 有機系</p> <p>・ 無機系</p> <p>アンカー筋の径及び埋込み長さ</p> <p>・ 図示による ()</p> <p>アンカー筋の種類</p> <p>・</p> <p>アンカー筋の新設壁内への穿通の長さ</p> <p>・ 図示による ()</p> <p>・ 性能確認試験</p> <p>試験方法及び試験数</p> <p>・ 図示による ()</p>																										
8-3	・ 穿孔	[8.12.4]																										
		<p>埋込み配管等の探査方法</p> <p>・ 鉄筋探知器 (金属探知器) により探査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う</p> <p>・ はつり出しによる</p>																										
8-3	・ 施工確認試験	[8.12.7]																										
		<p>試験方法</p> <p>※ 引張試験機による引張試験</p> <p>確認強度</p> <p>・ 図示による ()</p> <p>試験箇所数 ()</p>																										
8-4	・ 鉄骨製作工場	[8.1.5]																										
		<p>鉄骨製作工場の加工能力</p> <p>※ 建築基準法 第88条の25 に基づき国土交通大臣から構造方法等の認定を取得している鉄骨製作工場又は同等以上の能力のある工場 () グレード以上</p> <p>・ 監督職員の承諾する工場</p>																										
8-4	・ 鉄骨製作工場における施工管理技術者	[8.1.6]																										
		<p>※ 配置する</p>																										
8-4	・ 鋼材	[8.2.8]																										
		<table border="1"> <tr> <th colspan="2">種類等</th> <th colspan="2">規格</th> </tr> <tr> <td>種類の記号</td> <td>適用箇所 (主要な部分)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ JISによる</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ JISによる</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ JISによる</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ JISによる</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ JISによる</td> <td></td> </tr> </table>	種類等		規格		種類の記号	適用箇所 (主要な部分)					・ JISによる				・ JISによる				・ JISによる				・ JISによる			
種類等		規格																										
種類の記号	適用箇所 (主要な部分)																											
		・ JISによる																										
		・ JISによる																										
		・ JISによる																										
		・ JISによる																										
		・ JISによる																										
8-4	・ 材料試験等	[8.2.14]																										
		<p>板厚方向に引張力を受ける鋼板の試験</p> <p>・ 行う (適用箇所) ()</p> <p>・ 行わない</p>																										
8-4	・ 高力ボルト	[8.2.9][8.13.2][8.14.2][8.14.7]																										
		<p>高力ボルトの種類</p> <p>・ トルシア形高力ボルト</p> <p>・ JIS形高力ボルト</p> <p>・ 溶融亜鉛めっき高力ボルト</p> <p>・</p> <p>ボルトの寸法</p> <p>ねじの呼び</p> <p>・ 図示による</p> <p>ボルトの継端距離、ボルト間隔、ゲージ等</p> <p>・ 図示による ()</p> <p>摩擦面の性能及び処理</p> <p>・ すべり試験の実施 (試験方法) ・ すべり係数試験 ・ すべり耐力試験)</p> <p>JIS形高力ボルトの締付け (本編め)</p> <p>ナット回転法の場合で、ボルトの長さがねじの呼びの5倍を超える場合の回転量</p> <p>・ 図示による</p>																										
8-4	・ 溶融亜鉛めっき高力ボルト	[8.13.2][8.20.5]																										
		<p>ボルトの継端距離、ボルト間隔、ゲージ等</p> <p>・ 図示による ()</p> <p>摩擦面の処理方法</p> <p>・ プラスト処理 (表面粗度50µm Rz以上)</p> <p>・ リン酸塩処理</p> <p>・</p>																										
8-4	・ 溶接材料	[8.2.10]																										
		<p>溶接材料</p> <p>・ 改修標準仕様書 8.2.10(1)(2)による</p> <p>・</p>																										
工事名称		福山市庁舎東棟他便所改修工事																										
図面名称		建築改修工事特記仕様書 No-7																										
設計		福山市建設局建築部管轄課																										
設計		2026年 4月																										
縮尺率		A1=100%																										
縮尺率		A2= 71%																										
縮尺率		A3= 50%																										
図面No		A-07																										

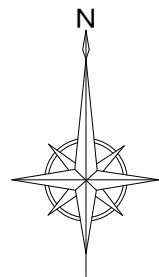
章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項
8-5	スタッド	種類等 [8. 2. 11] 呼び名 呼び長さ (mm) 適用箇所 ・ 16 ・ 19 ・ 22	8-6	鉄筋の加工及び組立	割製補強筋 [8. 21. 6] 形状 種類 呼び径、曲げ直径、ピッチ ・ 図示による ()	8-8	既存部分の撤去等	既存仕上げ等の撤去 [8. 24. 4] 撤去範囲 ・ 図示による () 設備機器、配管等の撤去及び移設 ・ 図示による () 既存構造体の撤去 撤去範囲 ・ 図示による () はつり出した鉄筋及び鉄骨の処置 ・ 図示による ()	8-11	支保材及び減衰材の設置	防錆処理 [8. 26. 10] ・ 図示による 支保材及び減衰材の設置位置の寸法許容差 ・ 図示による 鉄筋コナリ違又は鉄骨鉄筋コンクリート造の既存部分との取り合い部の割製補強筋 ・ 図示による
	柱底均しモルタル	※ 無収縮モルタル [8. 2. 12]		コンクリートの打込み工法等	[8. 21. 8] 工法の種類 適用箇所 ・ 工法指定なし ・ 全ての増設壁 ・ 図示による () ・ 流込み工法 ・ 全ての増設壁 ・ 図示による () ・ 圧入工法 ・ 全ての増設壁 ・ 図示による ()		材料	連続繊維の材料 [8. 2. 13] ・ 炭素繊維 ・ アラミド繊維 工法 ・ 引張強度 (含浸硬化後) ・ () N/mm ² ヤング係数 (含浸硬化後) ・ () N/mm ²		仕上げ	支保材又は減衰材の設置後の仕上げ ・ 図示による ()
	仮組	仮組を行う範囲 [8. 13. 10] ・ 図示による ()		仕上げ	増設壁設置後の仕上げ [8. 21. 10] ・ 図示による ()		下地処理	ひび割れ部改修 [8. 24. 6] 範囲 ・ 図示による () 工法の種類 ・ 柱及び梁の隅角部の面取りの大きさ ・ 図示による ()		既存部分の撤去等	既存仕上げ等の撤去 [8. 27. 2] 撤去範囲 ・ 図示による () 設備機器、配管等の撤去及び移設 ・ 図示による () 既存構造体の撤去 撤去範囲 ・ 図示による () はつり出した鉄筋及び鉄骨の処置 ・ 図示による () 既存鉄骨の撤去 撤去範囲 ・ 図示による () 既存鉄骨の処置 ・ 図示による ()
	溶接作業を行う技能資格者の技量付加試験	試験の要領 [8. 15. 3] ・ 図示による ()		既存部分の処理	既存構造体コンクリート面の目荒らしの程度 [8. 22. 3] ・ 既存柱、梁面 ・ 打継ぎ面等の15~30%程度に、平均深さ 2~5mm (最大7mm) 程度の凹凸を全体にわたってつける。 ・ 既存壁 ・ 打継ぎ面等の10~15%程度に、平均深さ 2~5mm (最大7mm) 程度の凹凸を全体にわたってつける。		仕上げ	補強後の仕上げ [8. 24. 7] 補強後の仕上げ ・ 図示による ()		既存部分の処理	既存構造体コンクリート面の目荒らしの程度 [8. 27. 3] ・ 既存柱、梁面 ・ 打継ぎ面等の15~30%程度に、平均深さ 2~5mm (最大7mm) 程度の凹凸を全体にわたってつける。 ・ 既存壁 ・ 打継ぎ面等の10~15%程度に、平均深さ 2~5mm (最大7mm) 程度の凹凸を全体にわたってつける。
	溶接接合	開先の形状 [8. 15. 4] ・ 図示による () 鋼製エンドタブの切断する部分 切断する箇所 ・ 図示による () 切断範囲 ・ 鋼製エンドタブ、裏当て金等は、梁フランジの端から5mm以下を残して直線状に切断する。 なお、切断線が交差する場合は、交差点をアール状に加工する 切断面の仕上げ ※ 改修標準仕様書 8. 15. 7 (1) (カ) (b) ②による		既存構造体との取合い	割製補強筋 [8. 22. 7] 形状 種類 呼び径、曲げ直径、ピッチ ・ 図示による ()		耐震スリットの方式、幅及び深さ	方式 [8. 25. 2] 完全スリット 部分スリット 幅及び深さ ・ 図示による () 設置箇所 ・ 図示による ()		減衰材 (材料)	減衰材の材質及び諸元 [8. 27. 4] ・ 図示による 性能確認試験の項目及び数量 ・ 図示による 製品検査における項目、内容、判定基準、検査頻度等 ・ 図示による
	溶接部の試験	溶接部の外観試験 [8. 15. 12] 平12建告第1464号第二号に関する外観試験 試験の方法 「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル (鉄骨製作管理技術者登録機構) 3. 5. 2 受入検査による 抜き取り検査① ※ 抜き取り検査② JASS 6 付則6 [鉄骨精度検査基準] の付表3「溶接」に関する試験 試験の方法 JASS 6 10. 4 [受入検査] の溶接部の外観検査(1)から(5)までによる。 ただし、完全溶込み溶接部の外観検査の抜き取り箇所は、超音波探傷試験の試験箇所と同一とする。 完全溶込み溶接部の超音波探傷試験 ・ 工場溶接の場合 ※ 全数 ・ 工場現場溶接の場合 ※ 全数		仕上げ	ブレース設置後の仕上げ [8. 22. 9] ・ 図示による ()		既存部分の撤去等	既存仕上げ等の撤去 [8. 25. 2] 撤去範囲 ・ 図示による () 既存構造体の撤去 撤去範囲 ・ 図示による () はつり出した鉄筋及び鉄骨の処置 ・ 図示による ()		減衰材の設置	防錆処理 [8. 27. 6] ・ 図示による 減衰材の設置位置の寸法許容差 ・ 図示による 鉄筋コナリ違又は鉄骨鉄筋コンクリート造の既存部分との取り合い部の割製補強筋 ・ 図示による 鉄骨造の既存部分との取り合い部の割製補強筋 ・ 図示による
	錆止め塗装	塗料の範囲 [8. 17. 2] 耐火被覆材の接着する面の塗装範囲 ・ 図示による () 耐火被覆材の接着する面以外の塗装範囲 ※ 改修標準仕様書 8. 17. 2 (1) による ・ 図示による () 塗料の種類 [8. 17. 4] 下記以外の鉄鋼面は、7章 [塗装改修工事] による ・ 鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブに鉄骨に溶接されたものの内側の錆止め塗料の種類 ※ As種 ・ 耐火被覆材が接着する面の塗料の種類 ・		鋼板巻き工法及び帯板巻き付け工法	鋼板等の加工での柱頭及び柱脚の隙間の寸法 [8. 23. 6] ・ 図示による ()		既存部分の撤去等	既存仕上げ等の撤去 [8. 26. 5] 撤去範囲 ・ 図示による () 設備機器、配管等の撤去及び移設 ・ 図示による () 既存構造体の撤去 撤去範囲 ・ 図示による () はつり出した鉄筋及び鉄骨の処置 ・ 図示による () 既存杭の撤去等 撤去範囲及び撤去方法 ・ 図示による ()		検査	検査項目及び数量 [8. 27. 9] ・ 図示による
	耐火被覆	種類、材料、工法等 [8. 18. 2] [8. 18. 3] 種類 材料・工法 性能 (耐火時間) 適用箇所 (部位・部分) 耐火材吹付け ・ 乾式吹付けロックウール ・ 半乾式吹付けロックウール ・ 湿式ロックウール 耐火板張り ・ 繊維混入けい酸カルシウム板 耐火材巻付け ・ 高断熱ロックウール ラス張りモルタル塗り 耐火塗料		仕上げ	補強後の仕上げ [8. 23. 7] ・ 図示による ()		既存部分の撤去等	既存仕上げ等の撤去 [8. 26. 6] 撤去範囲 ・ 図示による () 設備機器、配管等の撤去及び移設 ・ 図示による () 既存構造体の撤去 撤去範囲 ・ 図示による () はつり出した鉄筋及び鉄骨の処置 ・ 図示による () 既存杭の撤去等 撤去範囲及び撤去方法 ・ 図示による ()		支保材及び減衰材 (材料等)	支保材、減衰材の材質及び諸元 [8. 26. 7] ・ 図示による 性能確認試験の項目及び数量 ・ 図示による 製品検査における項目、内容、判定基準、検査頻度等 ・ 図示による
	現場打鉄筋コンクリート造の増設工事	既存部分の撤去等 [8. 21. 2] 既存仕上げ等の撤去 撤去範囲 ・ 図示による () 設備機器、配管等の撤去及び移設 ・ 図示による () 既存構造体の撤去 撤去範囲 ・ 図示による () はつり出した鉄筋及び鉄骨の処置 ・ 図示による ()		既存部分の処理	既存構造体コンクリート面の目荒らしの程度 [8. 21. 3] ・ 既存柱、梁面 ・ 打継ぎ面等の15~30%程度に、平均深さ 2~5mm (最大7mm) 程度の凹凸を全体にわたってつける。 ・ 既存壁 ・ 打継ぎ面等の10~15%程度に、平均深さ 2~5mm (最大7mm) 程度の凹凸を全体にわたってつける。		<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div> <p>工事名称 福山市庁舎東棟他便所改修工事</p> <p>図面名称 建築改修工事特記仕様書 No-8</p>  <p>福山市建設局建築部管轄課 設計 2026年 4月</p> </div> <div> <p>縮尺率 A1=100% A2= 71% A3= 50%</p> <p>図面No A-08</p> </div> </div>				

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項
8-12 建築改修工事 (単工種)	既存杭の撤去等	[8. 28. 2] 撤去範囲及び撤去方法 ・ 図示による () 既存杭の杭頭部等の処理 ・ 図示による () 既存杭の補強 ・ 図示による () 既存杭の健全性を確認する試験 ・ 図示による ()	9 建築改修工事	石綿含有建材の除去工事	[9. 1. 1] ○ 石綿含有建材除去後の仕上げ工事 ○ 図示による ・ 石綿粉じん濃度測定 [9. 1. 1] 測定時期、場所及び測定点 測定名称 測定時期 測定場所 測定箇所数 石綿含有建材の処理 [9. 1. 3] ・ 石綿含有吹付け材の除去 (石綿含有保温材等を切断又は破砕して除去する場合を含む) 除去対象範囲 ・ 図示による 除去方法 ※ 改修標準仕様書 9. 1. 3 (2) (ア)による 除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止措置 ※ 湿潤化 ・ 固形化 除去した石綿含有吹付け材等の処分 ・ 埋立処分 (管理型最終処分場) ・ 中間処理 (溶融施設は無害化処理施設) ・ 石綿含有保温材等の除去 [9. 1. 4] 除去対象範囲 ・ 図示による 除去方法 ※ 原形のまま、手ばらし 除去した石綿含有保温材等の飛散防止 ※ 湿潤化 ・ 固形化 除去した石綿含有保温材等の処分 ・ 埋立処分 (管理型最終処分場) ・ 中間処理 (溶融施設は無害化処理施設) ○ 石綿含有成形板等の除去 [9. 1. 5] 除去対象範囲 ○ 図示による 隔離養生 (負任不要) 方法 ・ 図示による 足場 ・ 図示による 除去した石綿含有成形板等の処分 ○ 埋立処分 (安定型最終処分場) ・ 中間処理 (溶融施設は無害化処理施設) ・ 石綿含有仕上塗材の除去 [9. 1. 6] 除去対象範囲 ・ 図示による 除去方法 養生方法 除去した石綿含有仕上塗材の処分 ・ 埋立処分 (安定型最終処分場) ・ 埋立処分 (管理型最終処分場) ・ 中間処理 (溶融施設は無害化処理施設) ・ 汚泥としての処理 断熱材 [9. 2. 2] 断熱材の種類 断熱材の厚さ (mm) 外装材 種類 防火性能 備考 既存外壁の処置 [9. 2. 3] 既存外壁仕上材の撤去 ・ あり ・ なし 下地面の清掃 ・ 行う ・ 行わない 欠損部の改修工法 工法 [9. 2. 4] 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ・ 図示による 不陸等の下地調整 断熱材の施工 ・ 断熱材製造所の仕様による 外装材の施工 ・ 外装材製造所の仕様による 透気層の有無 ・ あり (mm) ・ なし 外装材の外壁への取付け ・ 図示による	断熱・防露改修工事 [9. 3. 2] 断熱材打込み工法 断熱材 JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材 種類 厚さ (mm) フェノールフォーム断熱材又は保温材、接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ 開口部等補修のための張付け用の接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ 断熱材現場発泡工法 [9. 3. 3] 断熱材の種類 ・ A種 1 ・ A種 1 H 吹付け厚さ (mm) ・ 25 ・ 30 断熱材後張り工法 [9. 3. 4] 断熱材 JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材 種類 厚さ (mm) 断熱材にせっこうボード等を張り付けたパネル 材質 厚さ (mm) フェノールフォーム断熱材のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ 断熱材に直接ボードの張り付けを行う場合の張付け工法 () 断熱材にせっこうボード等を張り付けたパネルを使用する場合の工法 () 屋上緑化改修工事 [9. 4. 2] 材料及び地被類の種類等 ※ 図示による 見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等 ※ 図示による 工法 [9. 4. 3] 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ・ 図示による かん水装置 ・ 設置する (種類) 既存保護層の撤去 ・ 行う ・ 行わない 新植した芝及び地被類の植付期間 [9. 4. 4] ※ 引渡しの日から 1年 透水性アスファルト舗装改修工事 [9. 5. 2] 既存舗装の撤去及び再利用 ※ 図示による 路床 [9. 5. 3] 路床の材料 種類 材料 厚さ (mm) ・ 盛土 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ 図示による ・ 再生クラッシュラン ・ クラッシュラン ・ 図示による ・ 凍上抑制層 ・ 切込み砂利 ・ 砂 ・ フィルター層 ・ 砂 ・ 図示による 凍上抑制層に用いる材料に砂を用いる場合の粒状試験 ・ 行う ・ 行わない 路床安定処理 安定処理の方法 ・ 置き換え工法 ・ 安定処理工法 路床安定処理用添加材料 種類 ・ 普通ポルトランドセメント ・ 高炉セメントB種 ・ フライアッシュセメントB種 ・ 生石灰 (・ 特号 ・ 1号) ・ 消石灰 (・ 特号 ・ 1号) 試験 路床土の支持力比 (CBR) 試験 ・ 行う ・ 行わない 路床締固め度の試験 ・ 行う ・ 行わない 現場CBR試験 ・ 行う ・ 行わない 路盤 [9. 5. 4] 路盤の厚さ ・ 図示による 路盤材料 ・ クラッシュラン ・ 粒度調整砕石 ・ 再生クラッシュラン ・ 再生粒度調整砕石 ・ クラッシュラン鉄鋼スラグ ・ 粒度調整鉄鋼スラグ ・ 水硬性粒度調整鉄鋼スラグ 舗装の構成 [9. 5. 5] ・ 図示による 舗装の平坦性 ※ 著しい不陸がないもの 開粒度アスファルト混合物等の抽出試験 [9. 5. 9] ・ 行う ・ 行わない					
	埋戻し及び盛土	[8. 28. 3] 材料及び工法 ・ 材料 () ・ 工法 () ※ 改修標準仕様書表 8. 28. 1による ・ A種 適用場所 () ・ B種 適用場所 () ・ C種 適用場所 () 土質 () 受渡場所 () ・ D種 適用場所 () 建設発生土の処理 ※ 構外搬出適切処理 ・ 構内指定場所に堆積 ・ 構内指定場所に敷き均し									
	試験及び報告書	[8. 28. 4] 試験杭の位置、本数及び寸法並びに施工方法 ・ 図示による () 杭の載荷試験方法 ・ 図示による 試験杭の位置、本数及び載荷荷重 ・ 図示による 報告書の記載事項 ・ () 地盤の載荷試験方法 ・ 図示による 試験及び載荷荷重 ・ 図示による 報告書の記載事項 ・ ()									
	杭地業	[8. 2. 15] 杭の材料 ・ 図示による 杭の継手の箇所数、材料、工法等 ・ 図示による 杭の工法、種類、寸法、施工工法等 ・ 図示による 支持層の位置及び土質 (基礎ぐいの先端位置含む) ・ 図示による () 杭の溶接継手 技能資格者の技量 図示による () 溶接部の確認 ・ 図示による () 杭頭部の処理 ・ 処理しない ・ 処理する 処理方法 (切断にともなう補強方法含む) ・ 図示による () 支持層への根入れ長さ ・ () 水平方向の位置ずれ ・ 杭径の1/4かつ100mm以下 ・ 評定等の評価内容による 記録する施工状況等 ・ 図示による ()		[8. 28. 4] 杭の溶接継手 技能資格者の技量 図示による () 溶接部の確認 ・ 図示による () 杭頭部の処理 ・ 処理しない ・ 処理する 処理方法 (切断にともなう補強方法含む) ・ 図示による () 支持層への根入れ長さ ・ () 水平方向の位置ずれ ・ 杭径の1/4かつ100mm以下 ・ 評定等の評価内容による 記録する施工状況等 ・ 図示による ()							
	砂利地業	[8. 2. 15][8. 28. 4] 材料 ・ 再生クラッシュラン ・ 切込砂利 ・ 切込砕石 砂利厚さ ※ 60mm 範囲 ・ 図示による ()									
	砂地業	材料(シルト、有機物等の混入しない綿固めに通した砂) ・ 山砂 ・ 川砂 ・ 砕石 砂厚さ ※ 60mm 範囲 ・ 図示による ()									
	捨コンクリート地業	[8. 2. 15][8. 11. 1][8. 28. 4] 捨コンクリートの厚さ ※ 50mm コンクリートの類別 ・ I類 ・ II類 () コンクリートの種類 ※ 普通コンクリート 設計基準強度 ※ 18N/mm ² スランプ ※ 15cm又は18cm									

工事名称
福山市庁舎東棟他便所改修工事

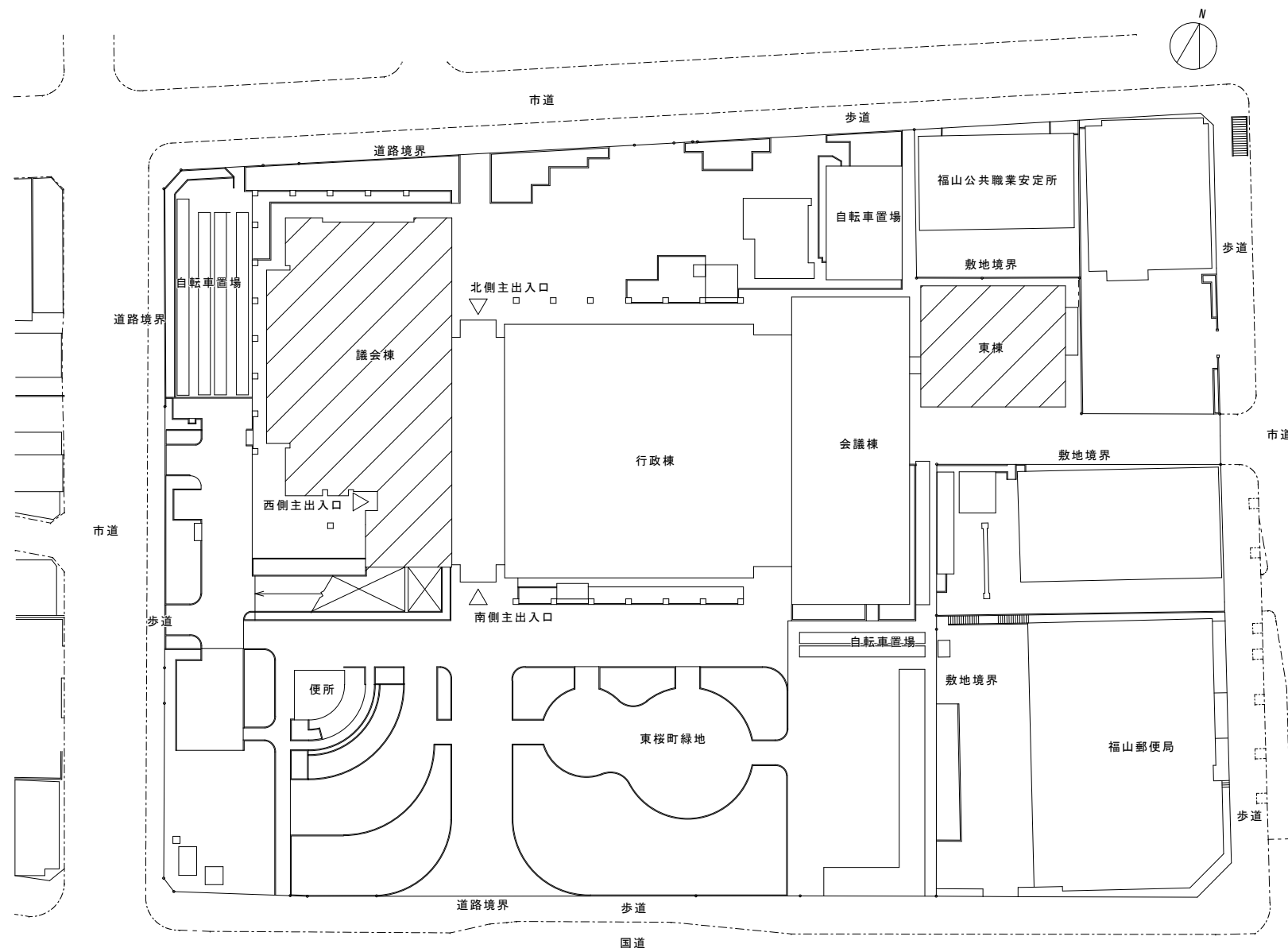
図面名称
建築改修工事特記仕様書 No-9

	福山市建設局建築部管轄課	縮尺率	図面No
	設計	A1=100% A2= 71% A3= 50%	A-09
	2026年 4月		



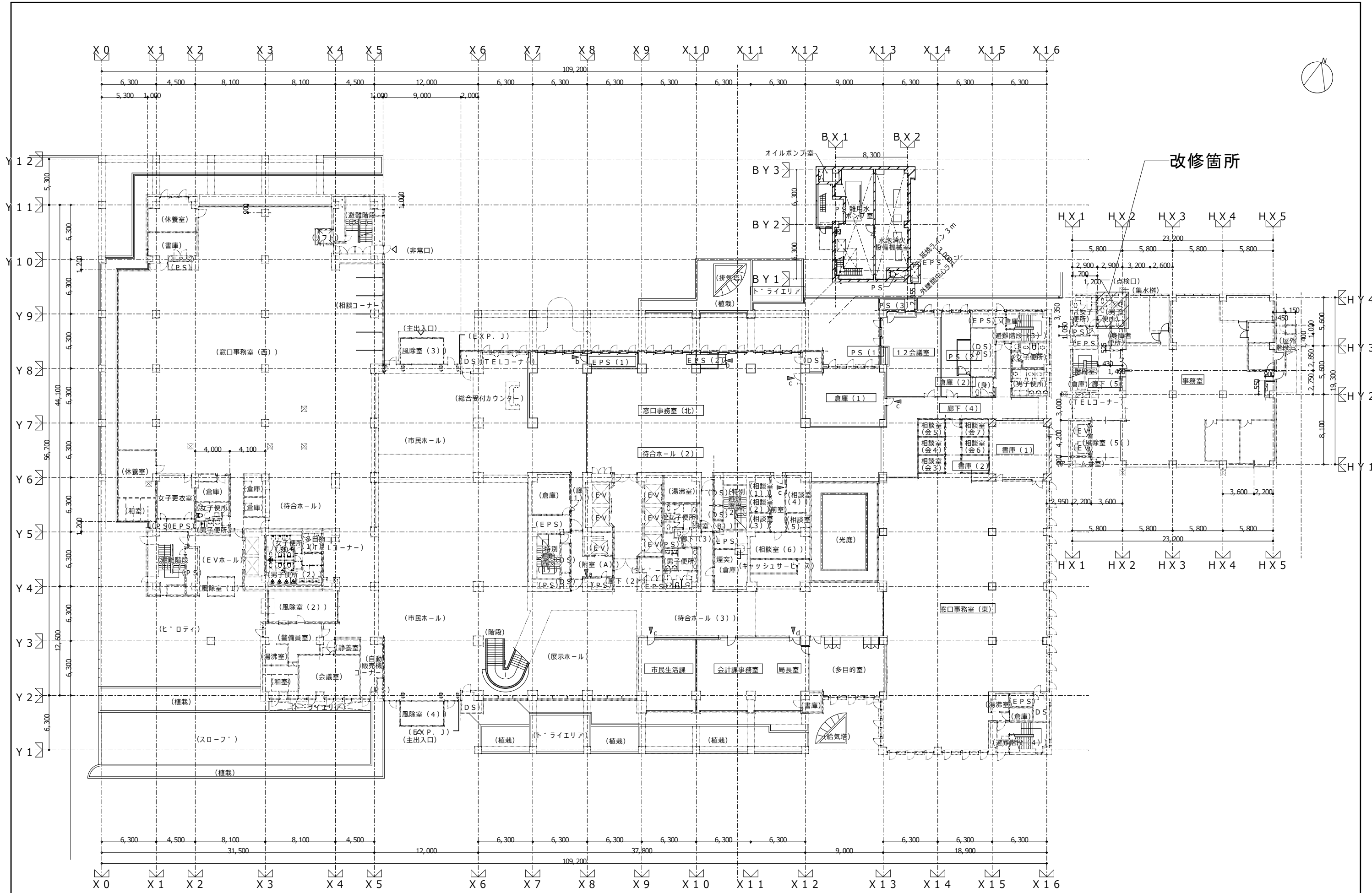
付近見取図 NonScale

福山市役所庁舎
福山市東桜町3番5号

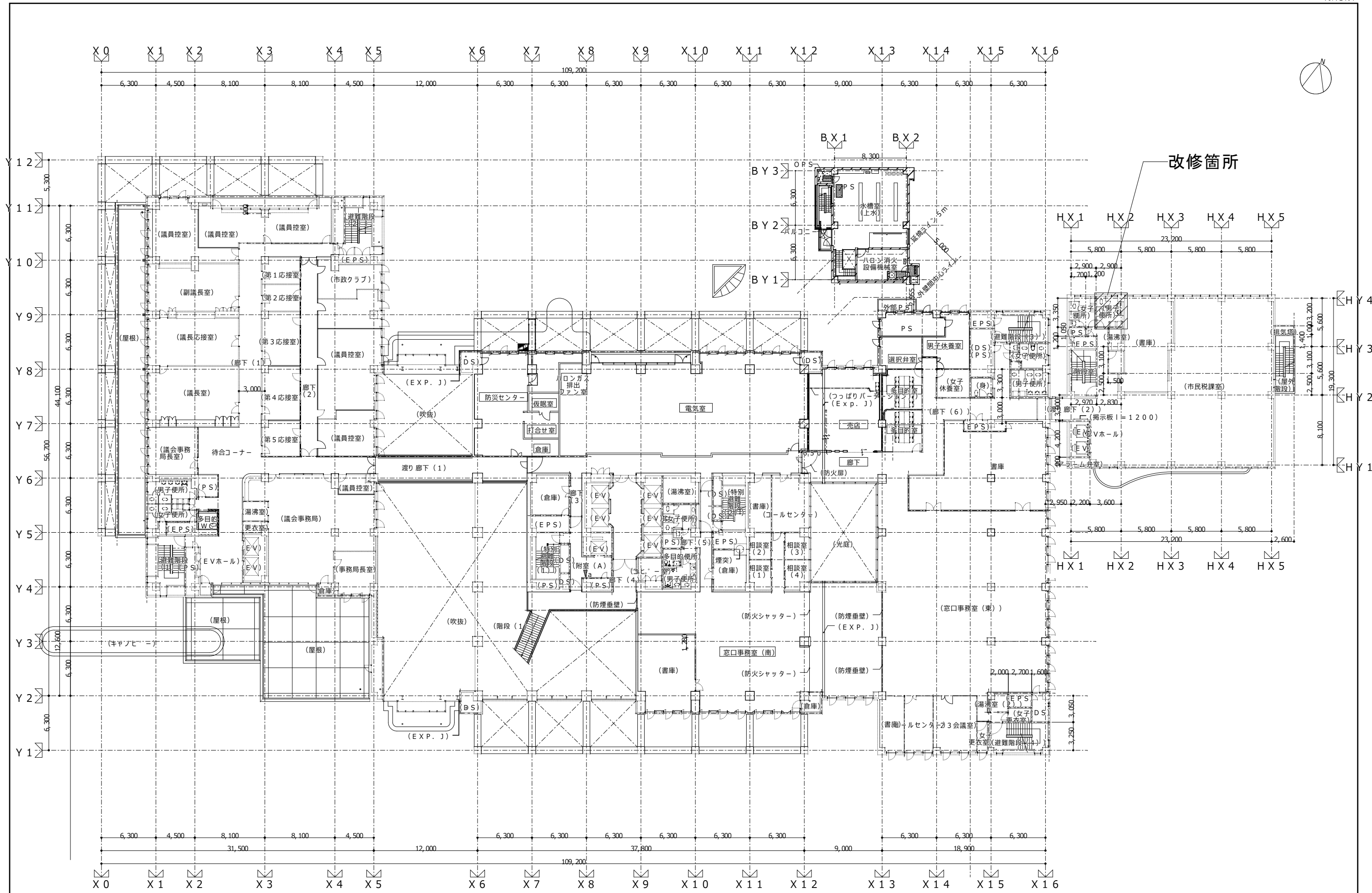


配置図 S=1/500

■■■■ 工事範囲を示す。

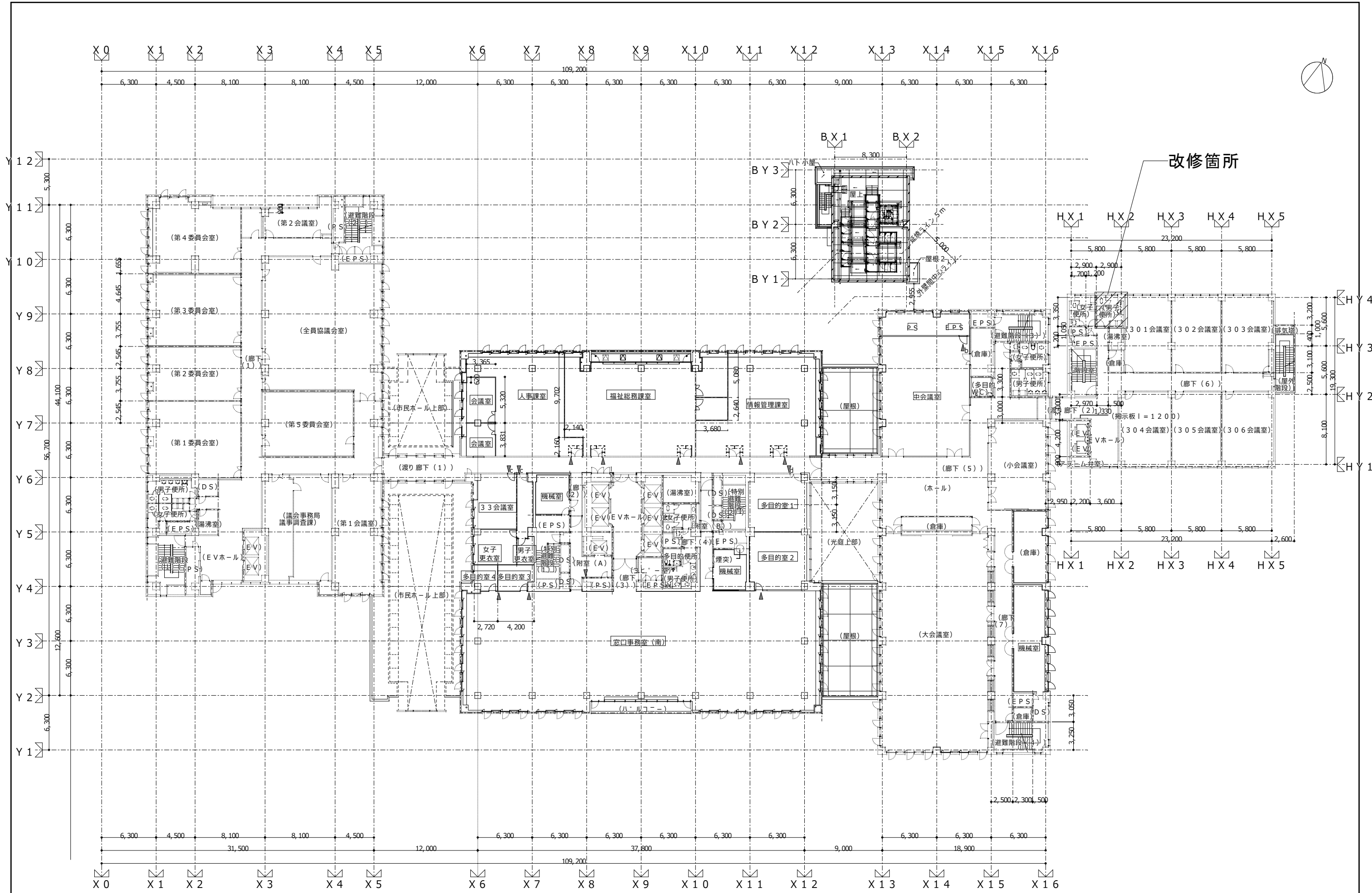


1階平面図 1/200



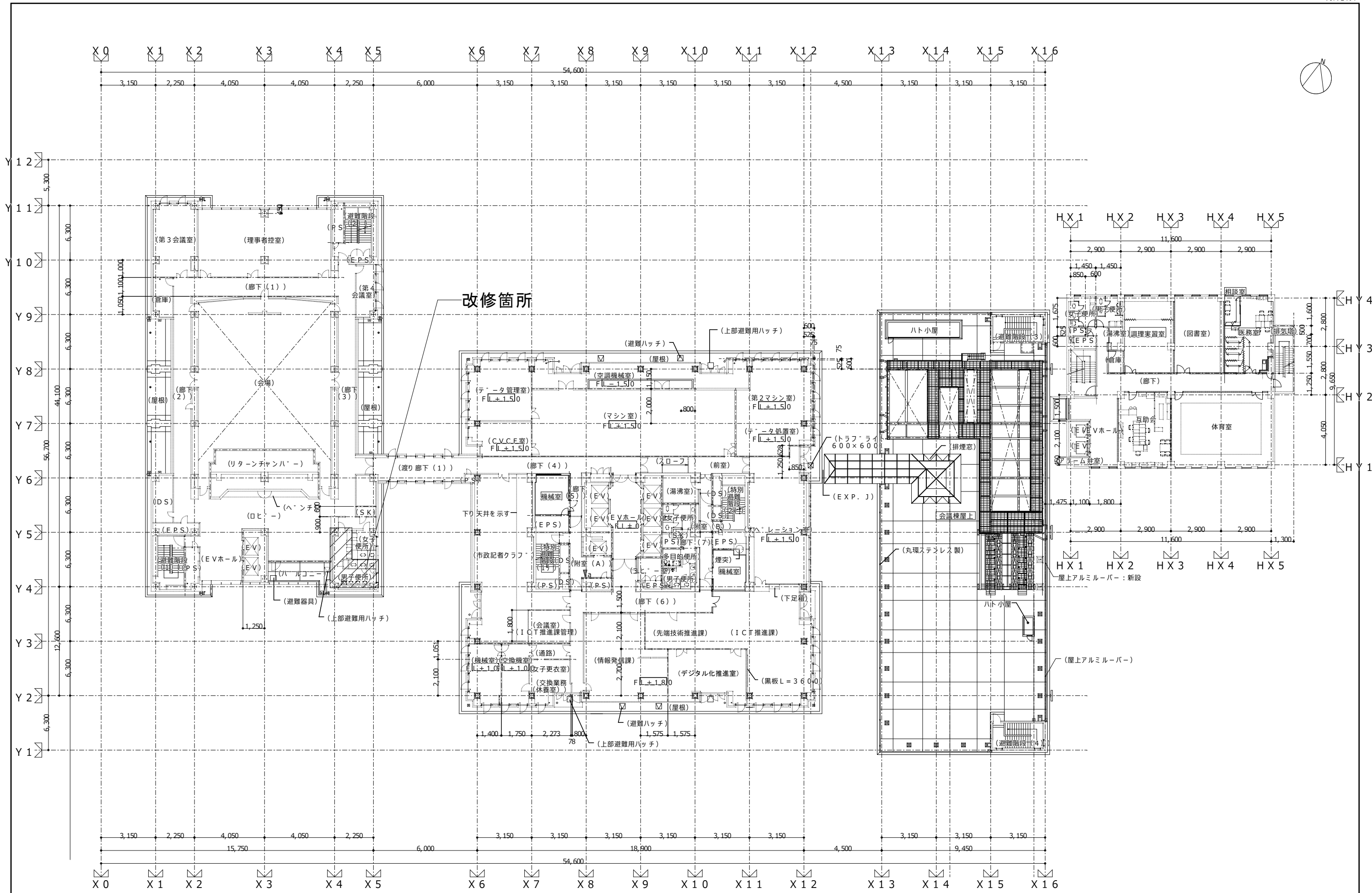
改修箇所

2階平面図 1/200

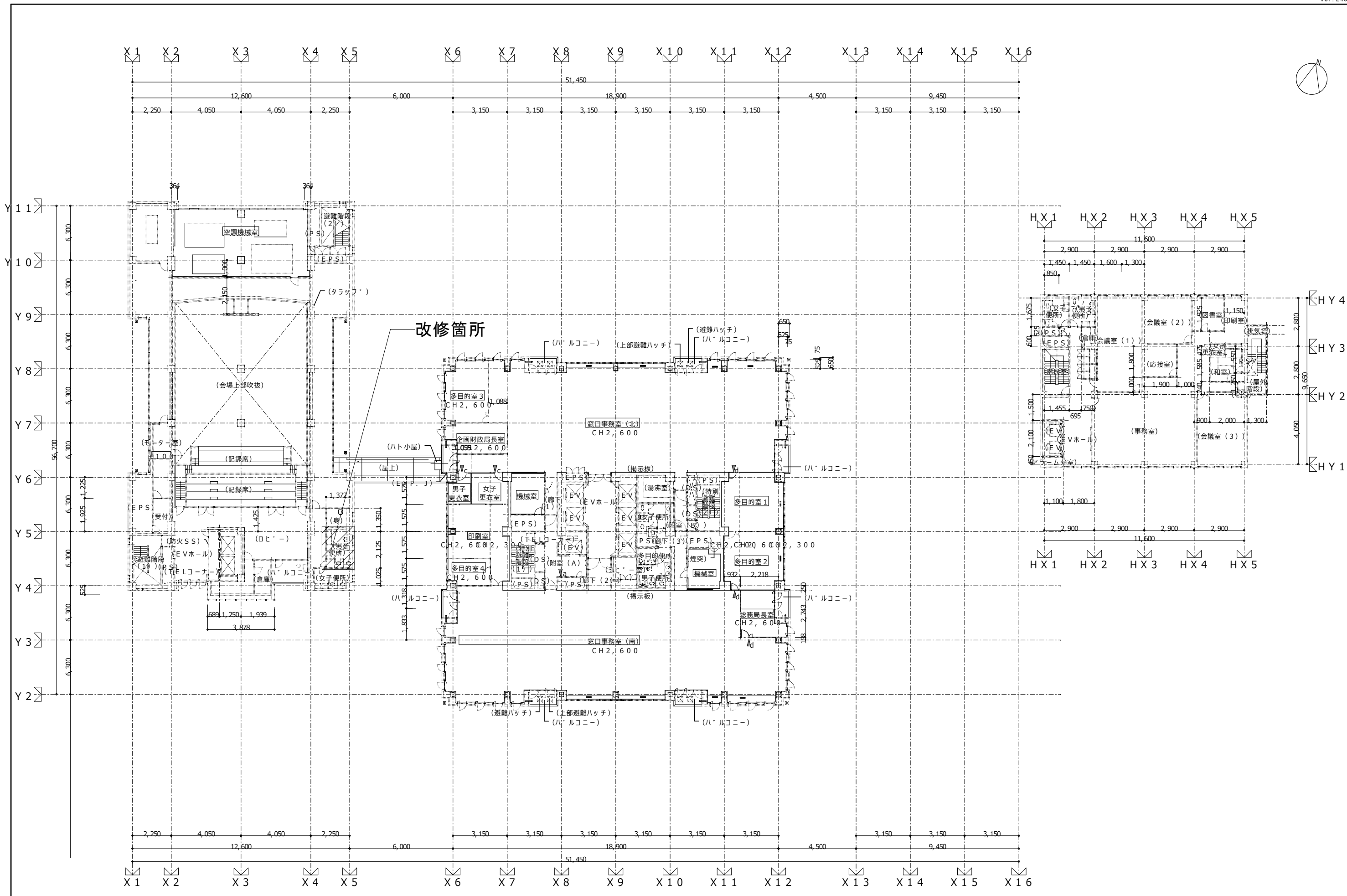


3階平面図 1/200

	福山市建設局建築部営繕課		工事名称 福山市庁舎東棟他便所改修工事		図番 A-13
	設計 2026年 4月		図面名称 3階平面図		



4階平面図 1/200



4階平面図 1/200

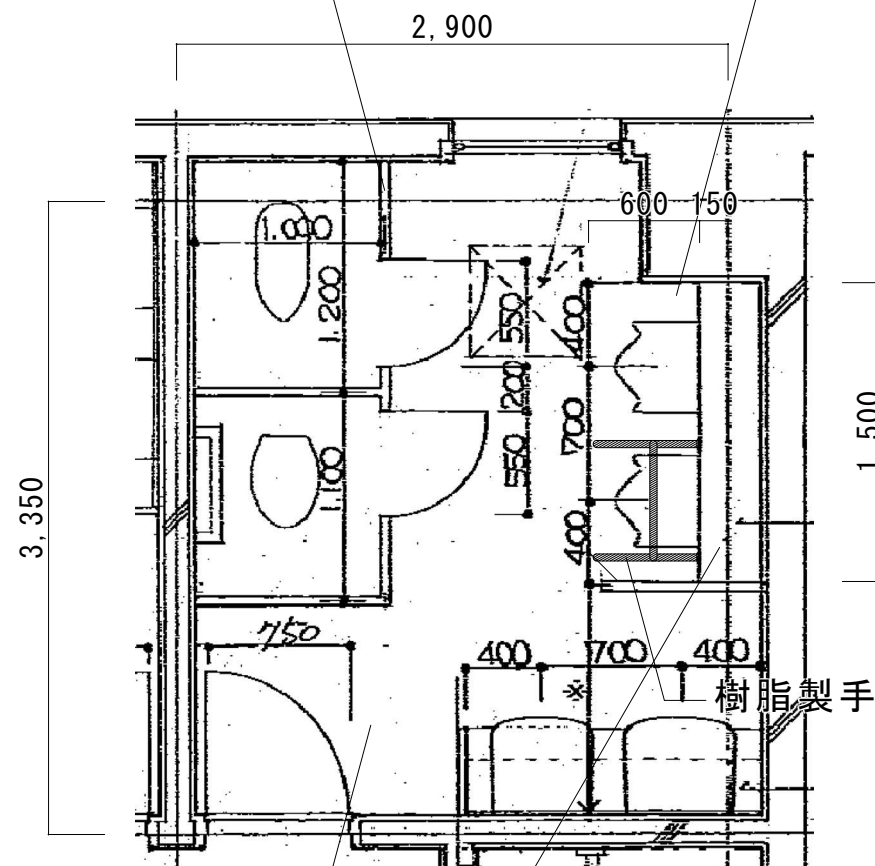
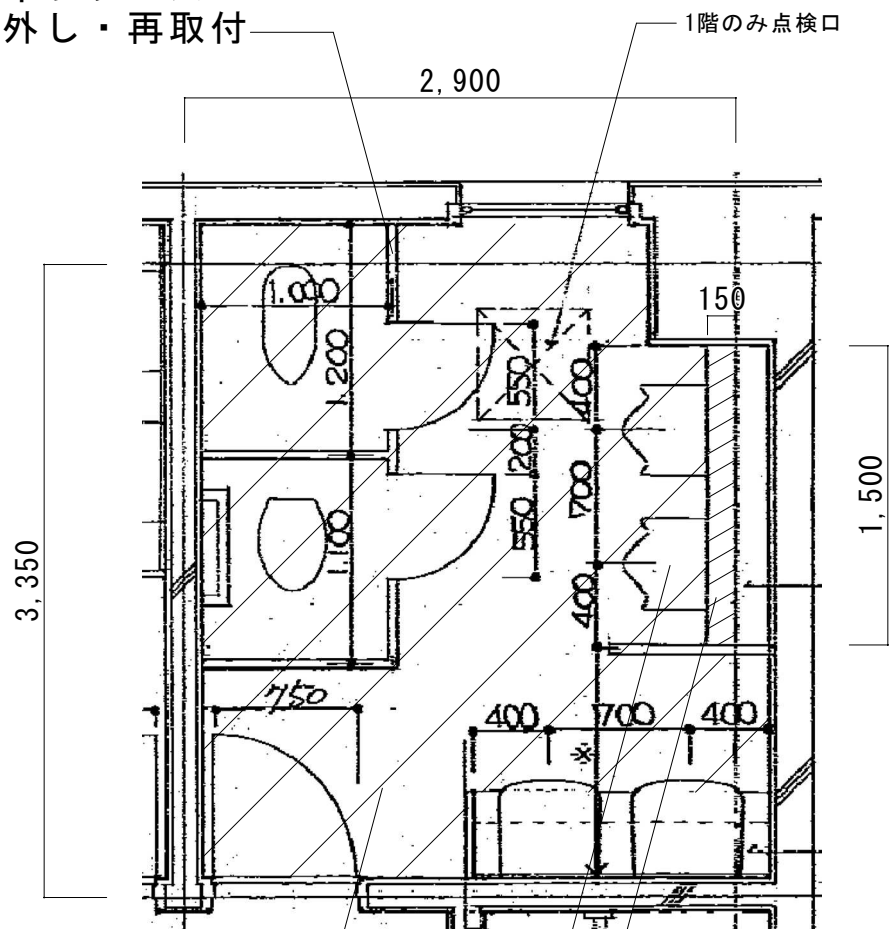
改修前 S=1/20

改修後 S=1/20

トイレブース
取外し・再取付

トイレブース
取外し・再取付

汚垂石新設



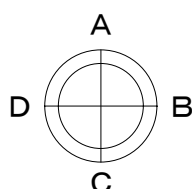
ビニル床シート撤去

ビニル床シート新設

小便器撤去・新設
(別途設備工事)

ライニング部改修
(既存化粧けい酸カルシウム板、
耐水せっこうボード及び
LGS撤去)

ライニング部改修
(LGS 65形、耐水せっこうボード、
化粧けい酸カルシウム板新設)



床ビニルシート改修範囲

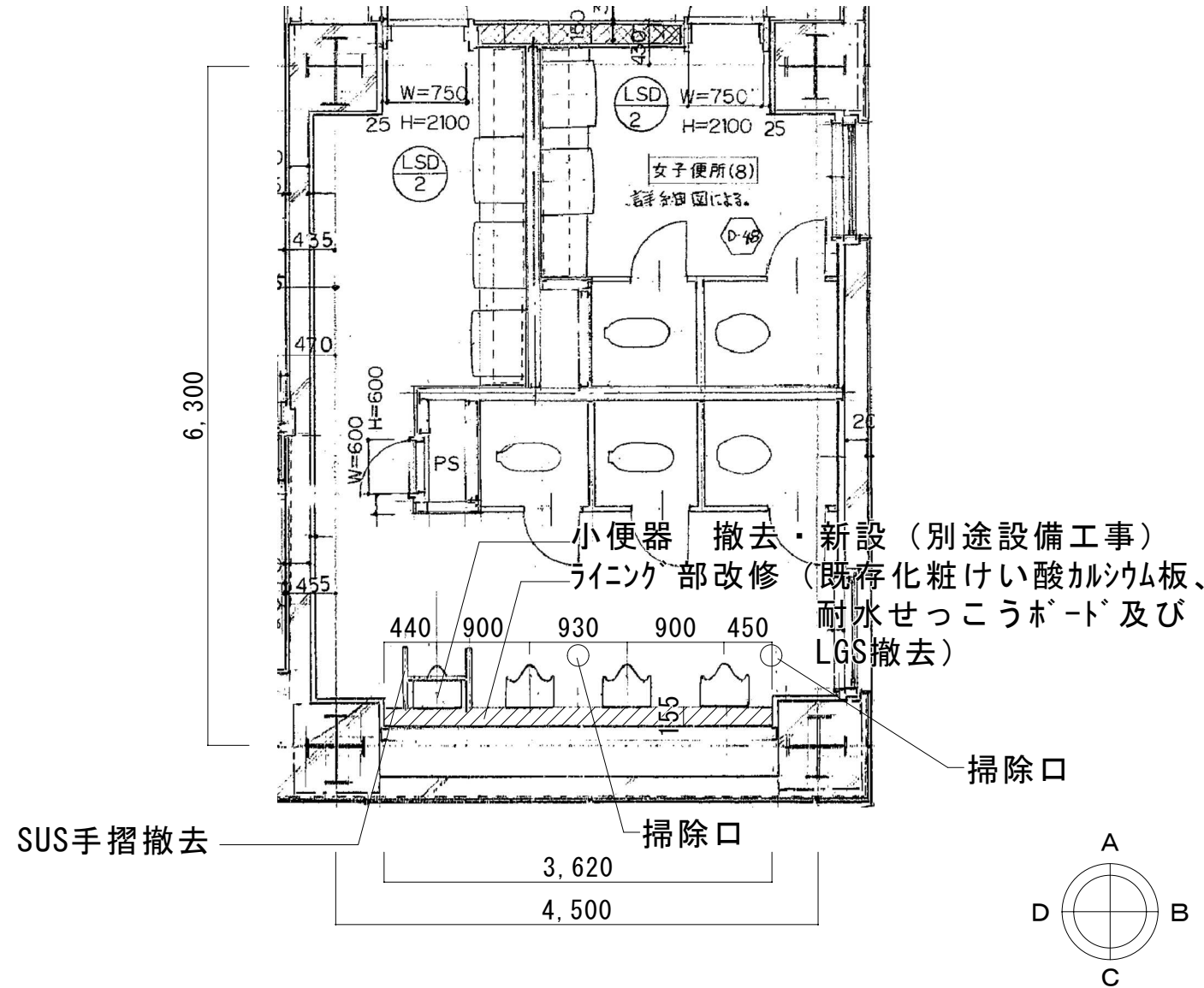
仕上表 改修前

仕上表 改修後

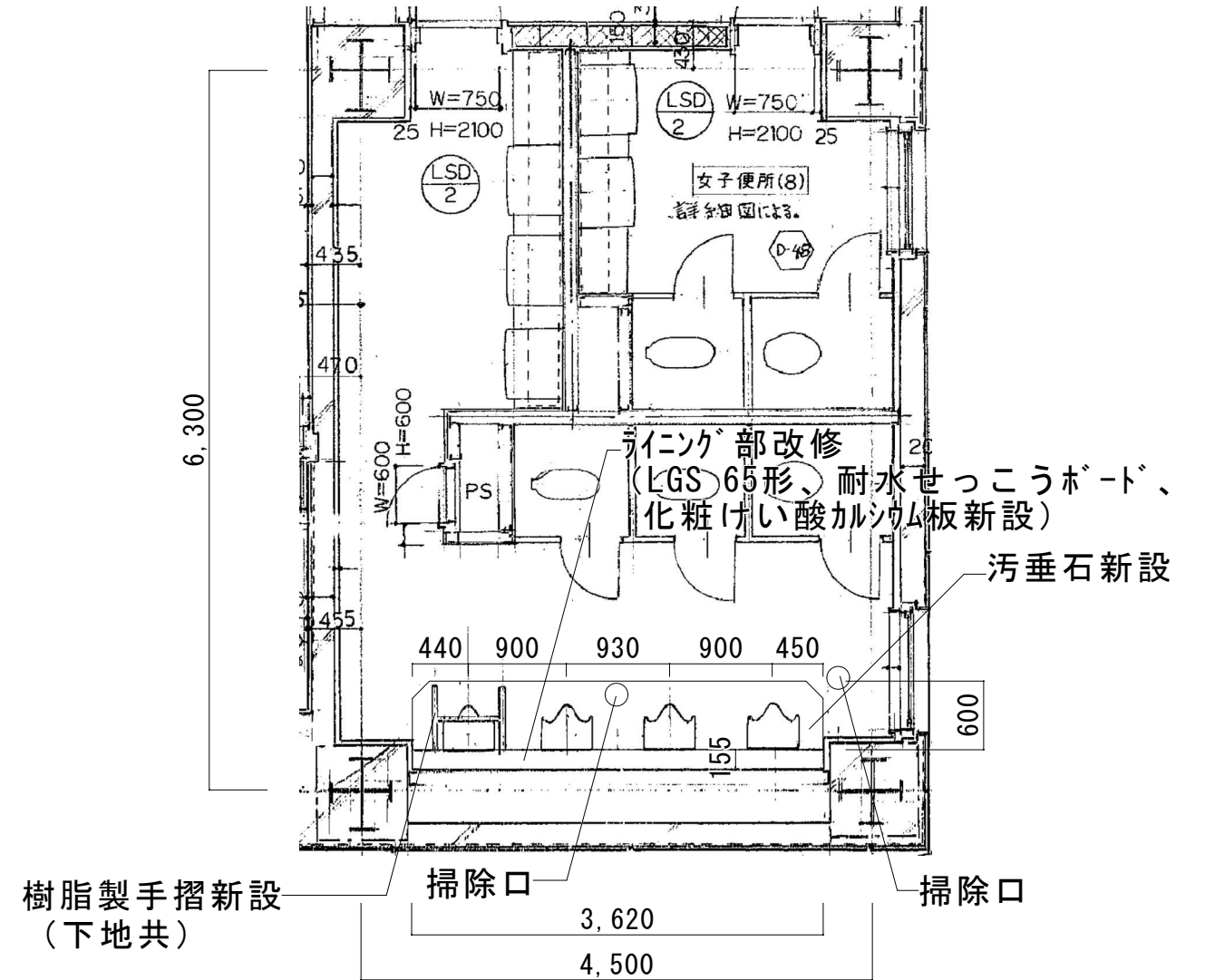
仕上表 改修前		仕上表 改修後	
床	ビニル床シートt=2.0 (アスベスト含有みなし撤去)	床	ビニル床シートt=2.0 サンゲツ エスリュームマープル黒系同等品 (新設)
巾木	SUS製巾木t=2.0 H=60 (撤去)	巾木	SUS製巾木t=2.0 H=60 (新設)
壁	下地: 耐水せっこうボードt=12.5 仕上: 化粧けい酸カルシウム板t=6 (既存のまま)	壁	下地: 耐水せっこうボードt=12.5 仕上: 化粧けい酸カルシウム板t=6 (既存のまま)
天井	下地: せっこうボードt=12.5 仕上: ロックウール吸音板t=9 (既存のまま)	天井	下地: せっこうボードt=12.5 仕上: ロックウール吸音板t=9 (既存のまま)
便器	洋便器×1 和便器×1 (洋便器のみ、別途設備工事にて取外し) 小便器×2 (別途設備工事にて撤去)	便器	洋便器×1 和便器×1 (洋便器のみ、別途設備工事にて再取付) 小便器×2 (別途設備工事にて新設)
トイレブース	メラミン樹脂化粧板 SUSエッジt=40 (床シート張替えのため取外し)	トイレブース	メラミン樹脂化粧板 SUSエッジt=40 (再取付)
ライニング	下地: LGS・耐水せっこうボードt=12.5 仕上: 化粧けい酸カルシウム板t=6 (アスベスト含有みなし撤去)	ライニング	下地: LGS・耐水せっこうボードt=12.5 仕上: 化粧けい酸カルシウム板t=6 A&Aマテリアルステンド 漆黒系同等品 (新設)
	テラゾプロック笠木 (撤去)		樹脂製笠木t=12 TOTOマープライトカウンター白系同等品 (新設)
	SUS製巾木t=2.0 H=60 (撤去)		SUS製巾木t=2.0 H=60 (新設)
			小便器用手摺 TOTO T112CU22ホワイト同等品 下地補強含む (新設)
			汚垂石 (磁器質タイル) t=6 600×1500 TOTOハイドレテラ・フロアPU (薄型) 黒系同等品 (新設)

改修前 S=1/30

※掃除口は別途設備工事にて移設



改修後 S=1/30



仕上表 改修前

床	150角陶器質タイル (既存のまま)
巾木	SUS製巾木t=2.0 H=70 (既存のまま)
壁	下地: 耐水せっこうボードt=12.5 仕上: 化粧けい酸カルシウム板t=6 (既存のまま)
天井	下地: せっこうボードt=12.5 仕上: ロックウール吸音板t=9 (既存のまま)
便器	洋便器×1 和便器×2 (既存のまま) 小便器×4 (別途設備工事にて撤去)
トイレース	メラミン樹脂化粧板 SUSエッジt=40 (既存のまま)
ライニング	下地: LGS・耐水せっこうボードt=12.5 仕上: 化粧けい酸カルシウム板t=6 (アスペスト含有みなし撤去)
	SUS製笠木 (撤去)
	SUS製巾木t=2.0 H=70 (撤去)
	小便器用手摺 (撤去)

仕上表 改修後

床	150角陶器質タイル (既存のまま)
巾木	SUS製巾木t=2.0 H=70 (既存のまま)
壁	下地: 耐水せっこうボードt=12.5 仕上: 化粧けい酸カルシウム板t=6 (既存のまま)
天井	下地: せっこうボードt=12.5 仕上: ロックウール吸音板t=9 (既存のまま)
便器	洋便器×1 和便器×2 (既存のまま) 小便器×4 (別途設備工事にて新設)
トイレース	メラミン樹脂化粧板 SUSエッジt=40 (既存のまま)
ライニング	下地: LGS・耐水せっこうボードt=12.5 仕上: 化粧けい酸カルシウム板t=6 A&Aマテリアルステンド 漆黒系同等品 (新設)
	樹脂製笠木t=12 TOTOMAPライトカウンター白系同等品 (新設)
	SUS製巾木t=2.0 H=70 (新設)
	小便器用手摺 TOTOT112CU22ホワイト同等品 下地補強含む (新設)
	汚垂石 (磁器質タイル) t=6 600×3620 TOTOHAIドレラ・フロアPU (薄型) 黒系同等品 (新設)



福山市建設局建築部営繕課

2026年 4月

福山市庁舎東棟他便所改修工事

議会棟4階男子便所 平面詳細図

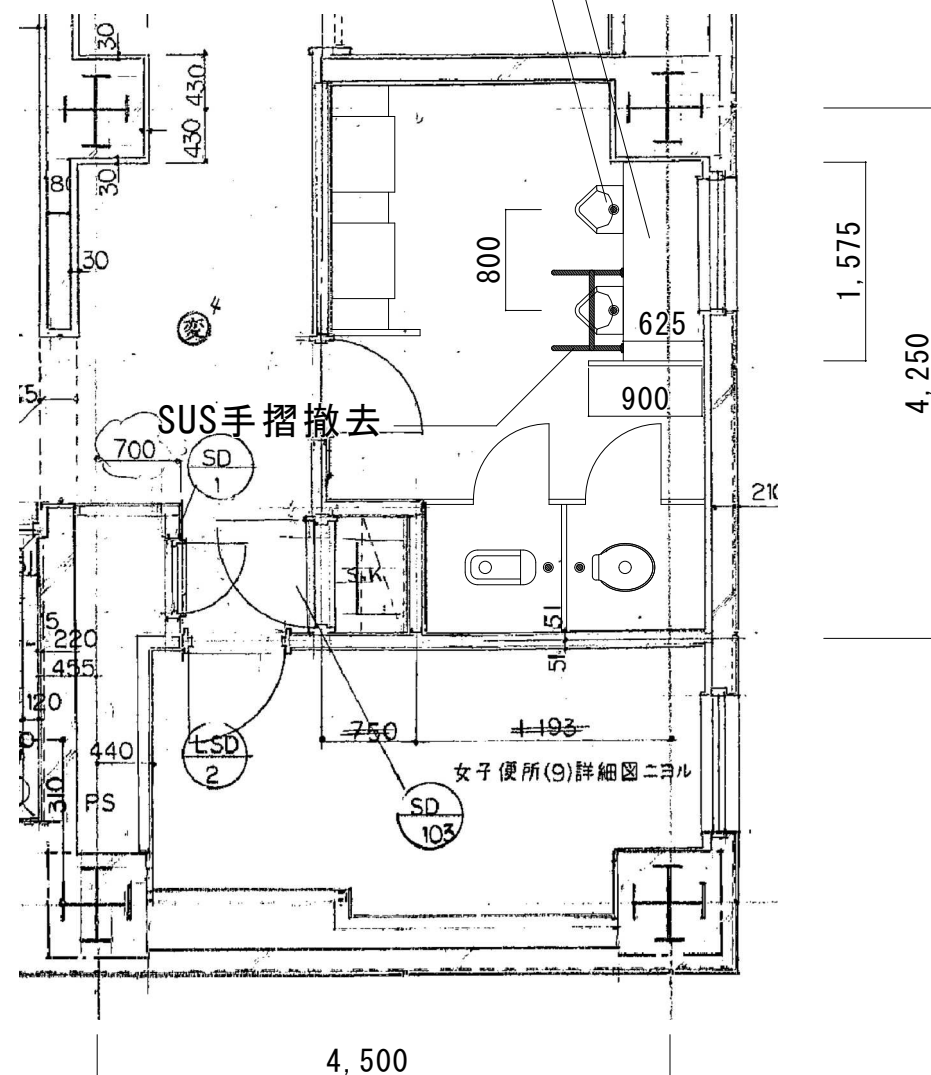
図示

改修前 S=1/30

改修後 S=1/30

小便器 撤去・新設（別途設備工事）

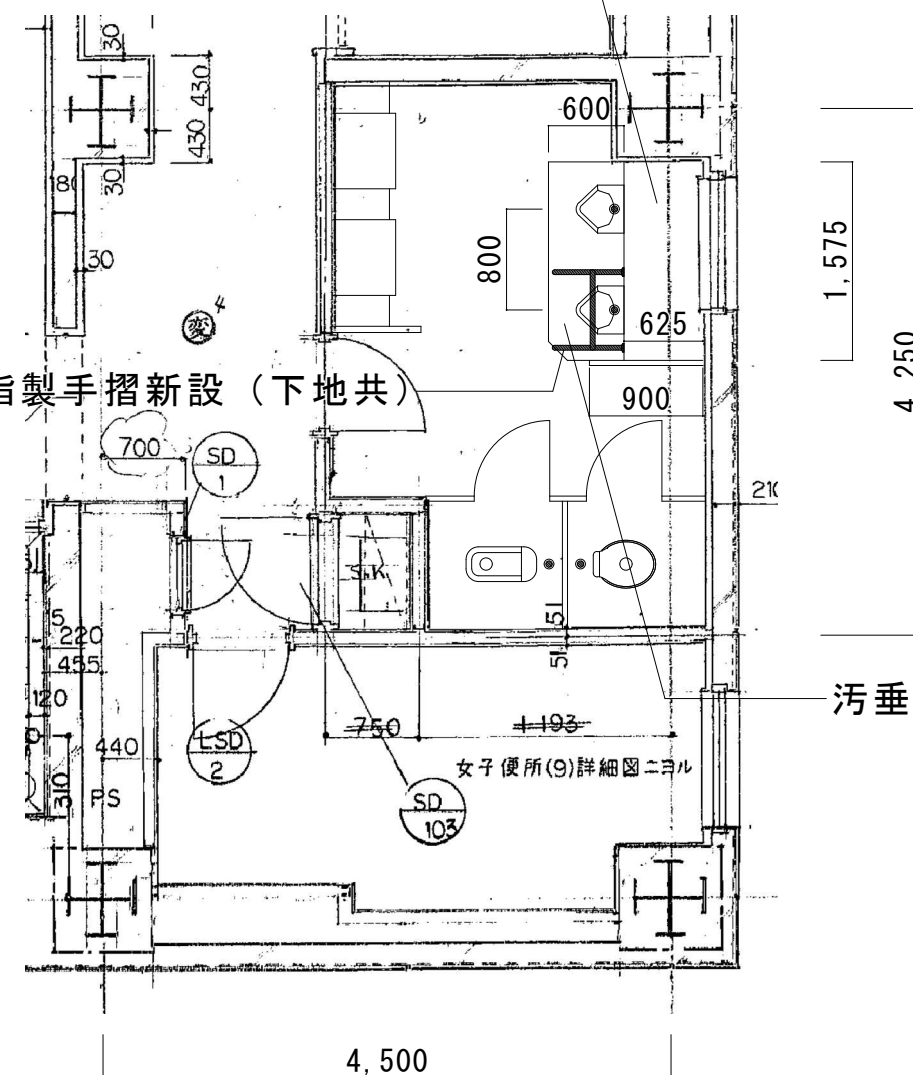
ライング部改修
（既存化粧けい酸カルシウム板
耐水せっこうボード及び
LGS撤去）



ライング部改修
（LGS 65形、耐水せっこうボード、
化粧けい酸カルシウム板 新設）

樹脂製手摺新設（下地共）

汚垂石新設

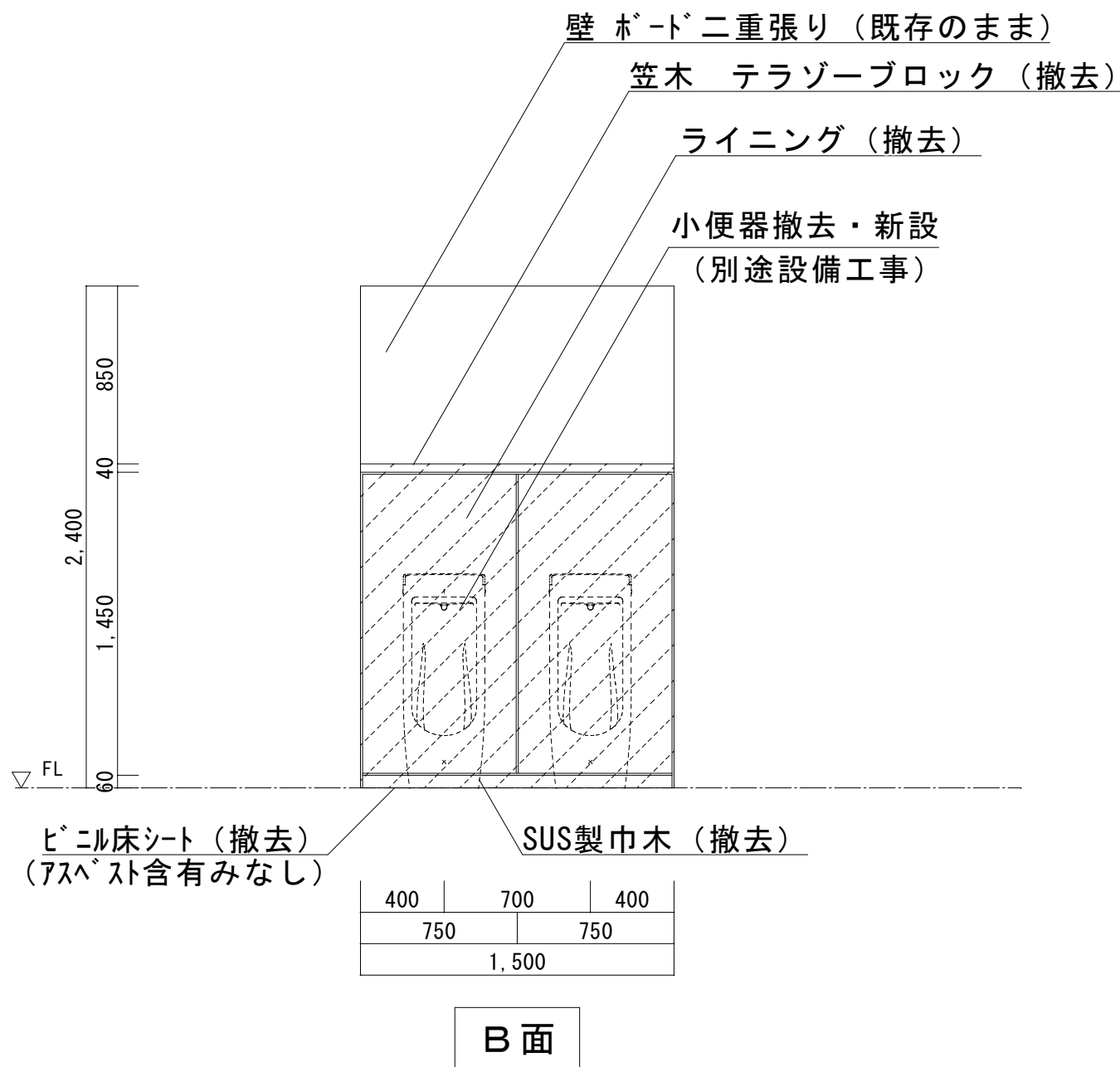


仕上表 改修前

仕上表 改修後

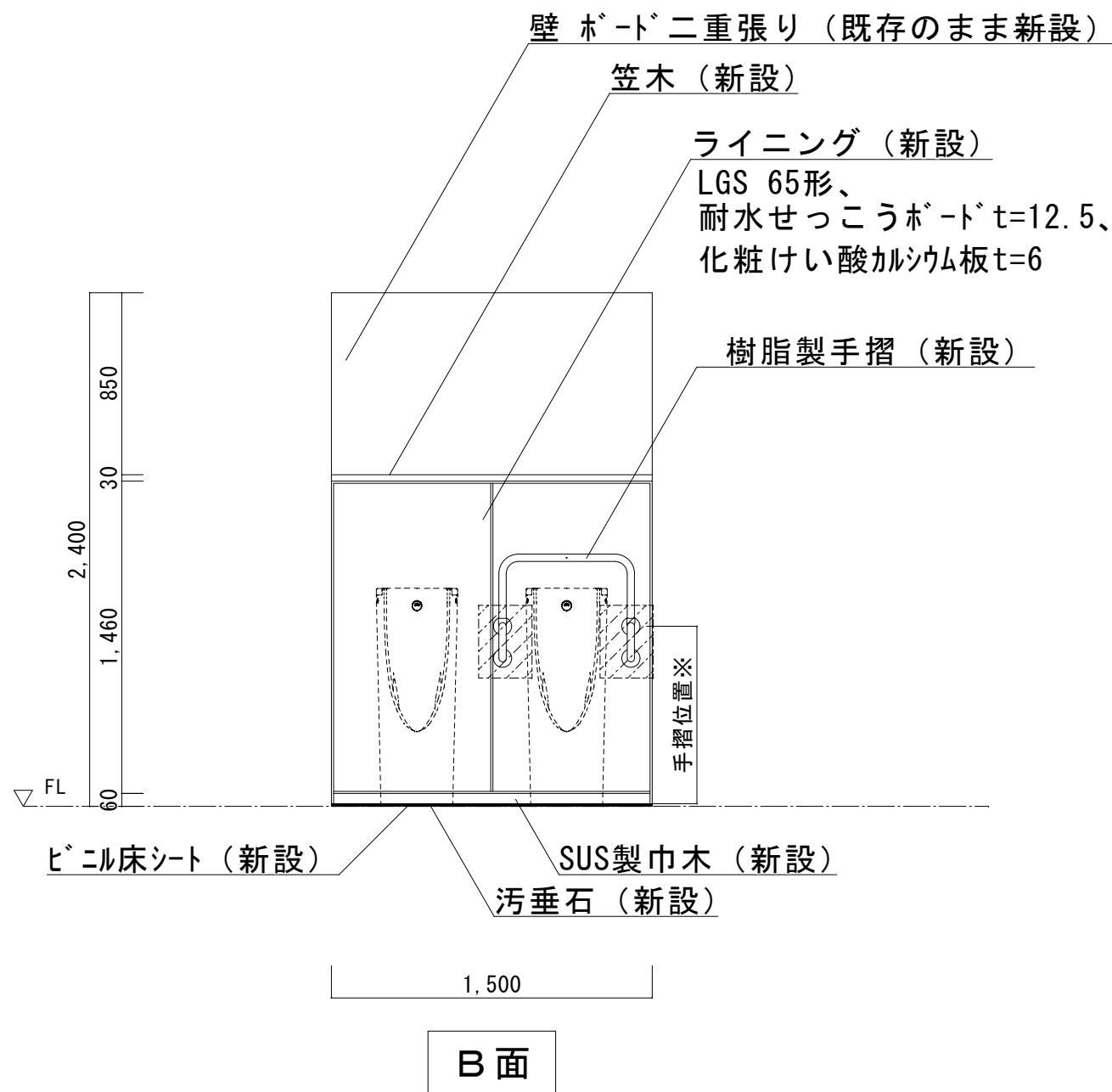
仕上表 改修前		仕上表 改修後	
床	150角陶器質タイル（既存のまま）	床	150角陶器質タイル（既存のまま）
巾木	SUS製巾木t=2.0 H=70（既存のまま）	巾木	SUS製巾木t=2.0 H=70（既存のまま）
壁	下地：耐水せっこうボードt=12.5 仕上：化粧けい酸カルシウム板t=6（既存のまま）	壁	下地：耐水せっこうボードt=12.5 仕上：化粧けい酸カルシウム板t=6（既存のまま）
天井	下地：せっこうボードt=12.5 仕上：ロックウール吸音板t=9（既存のまま）	天井	下地：せっこうボードt=12.5 仕上：ロックウール吸音板t=9（既存のまま）
便器	洋便器×1 和便器×1（既存のまま） 小便器×2（別途設備工事にて撤去）	便器	洋便器×1 和便器×1（既存のまま） 小便器×2（別途設備工事にて新設）
トイレース	メラミン樹脂化粧板 SUSエッジt=40（既存のまま）	トイレース	メラミン樹脂化粧板 SUSエッジt=40（既存のまま）
ライング	下地：LGS・耐水せっこうボードt=12.5 仕上：化粧けい酸カルシウム板t=6（アスベスト含有みなし撤去）	ライング	下地：LGS・耐水せっこうボードt=12.5 仕上：化粧けい酸カルシウム板t=6 A&Aマテリアルステッド 漆黒系同等品（新設）
	SUS製笠木（撤去）		樹脂製笠木t=15 TOTOMARUPライトカウンター白系同等品（新設）
	SUS製巾木t=2.0 H=70（撤去）		SUS製巾木t=2.0 H=70（新設）
	小便器用手摺（撤去）		小便器用手摺 TOTOT112CU22ホワイト同等品 下地補強含む（新設）
			汚垂石（磁器質タイル）t=6 600×1575 TOTOHAIドレラ・フロアPU（薄型）黒系同等品（新設）

ライニング改修範囲



小便器手摺下地補強範囲

※樹脂製手摺の取付位置は、汚垂石天端+940mm程度とし、監督員と協議の上、決定する。

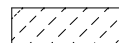


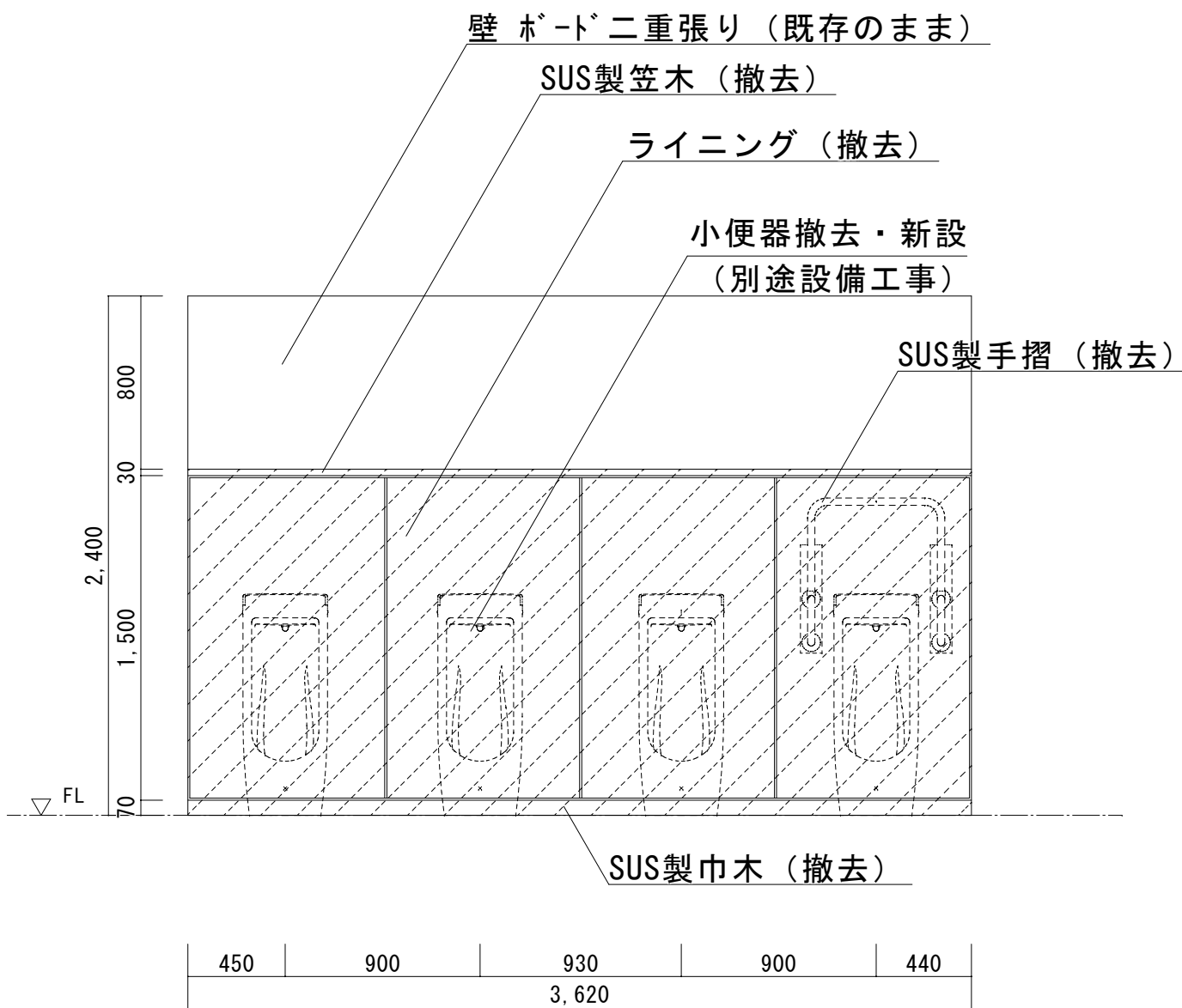
仕上表 改修前

便器	小便器×2（別途設備工事にて撤去）
ライニング	下地：LGS・耐水せっこうボードt=12.5 仕上：化粧けい酸カルシウム板t=6（アスベスト含有みなし撤去）
	笠木 テラゾーブロック（撤去）
	SUS製巾木 H=60（撤去）
	小便器用手摺（撤去）
壁	下地：耐水せっこうボードt=12.5 仕上：化粧けい酸カルシウム板t=6（既存のまま）
床	ビニル床シート t=2.0（アスベスト含有みなし撤去）

仕上表 改修後

便器	小便器×2（別途設備工事にて新設）
ライニング	下地：LGS・耐水せっこうボードt=12.5 仕上：化粧けい酸カルシウム板t=6 A&Aマテリアルステント 漆黒系同等品（新設）
	樹脂製笠木t=12 TOTOMAR-フライントカウンター白系同等品（新設）
	SUS製巾木t=2 H=60（新設）
	小便器用手摺 TOTOTI12CU22ホワイト同等品 下地補強含む（新設）
	汚垂石（磁器質タイル）t=6 600×1500 TOTOHIT-セラ・フロアPU（薄型）黒系同等品（新設）
壁	下地：耐水せっこうボードt=12.5 仕上：化粧けい酸カルシウム板t=6（既存のまま）
床	ビニル床シート t=2.0 サンゲツ エスリュームマーブル黒系同等品（新設）

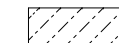
 ライニング 改修範囲



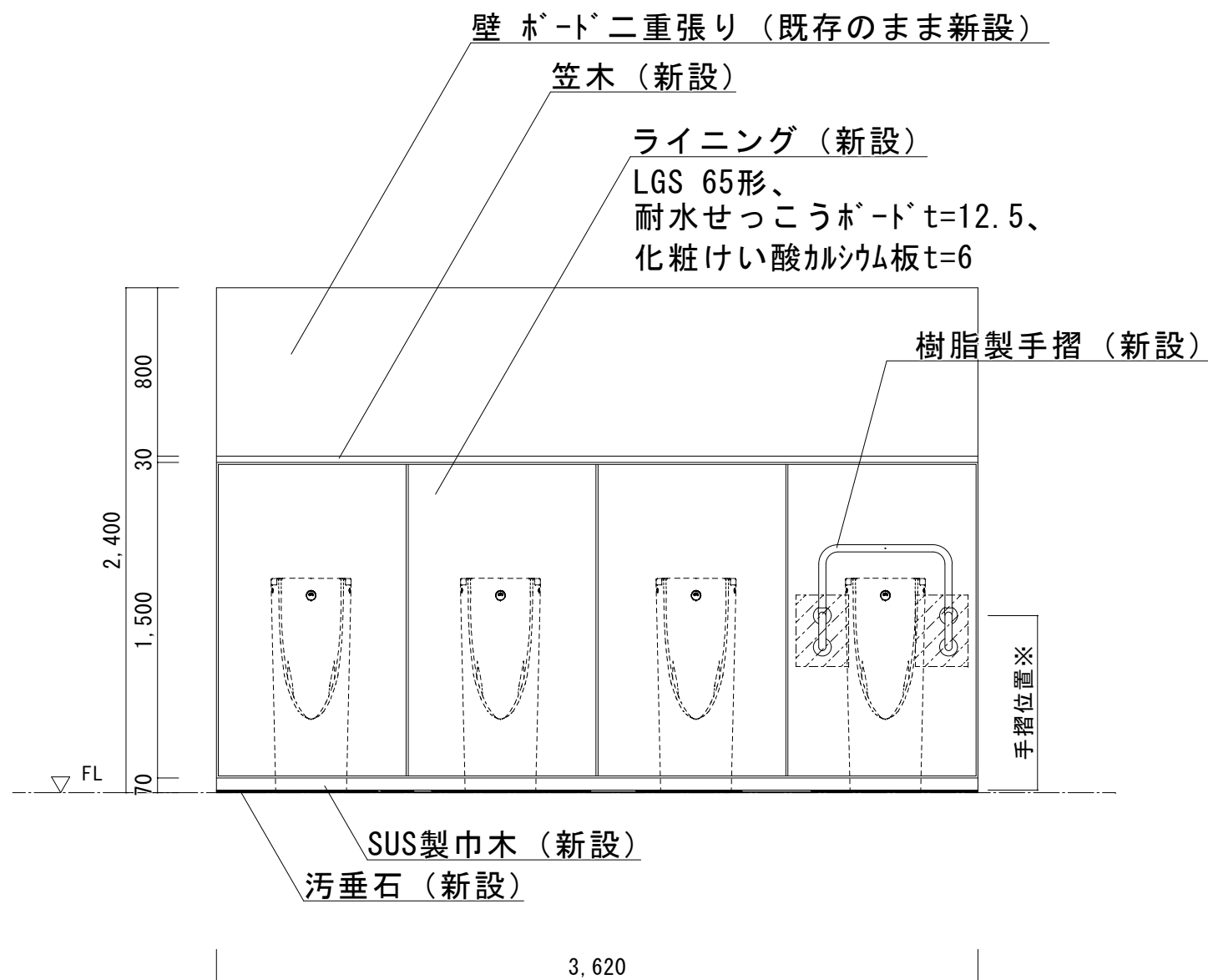
C面

仕上表 改修前

便器	小便器×4 (別途設備工事にて撤去)
ライニング	下地：LGS・耐水せっこうボード t=12.5 仕上：化粧けい酸カルシウム板 t=6 (アスベスト含有みなし撤去)
	SUS製笠木 (撤去)
	SUS製巾木 H=70 (撤去)
	小便器用手摺 (撤去)
壁	下地：耐水せっこうボード t=12.5 仕上：化粧けい酸カルシウム板 t=6 (既存のまま)

 小便器手摺下地補強範囲

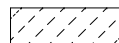
※樹脂製手摺の取付位置は、汚垂石天端+940mm程度とし、監督員と協議の上、決定する。

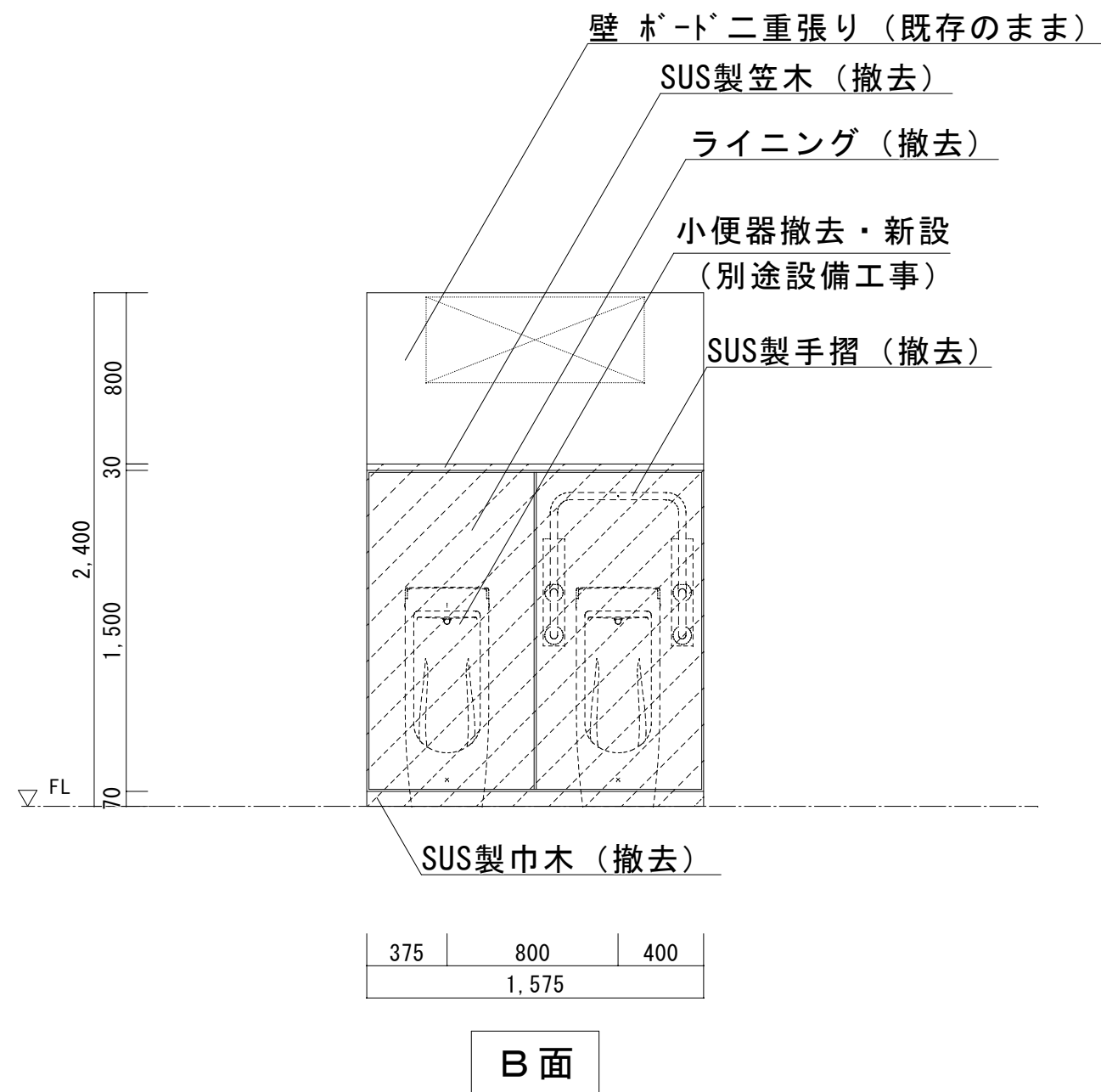


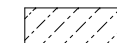
C面

仕上表 改修後

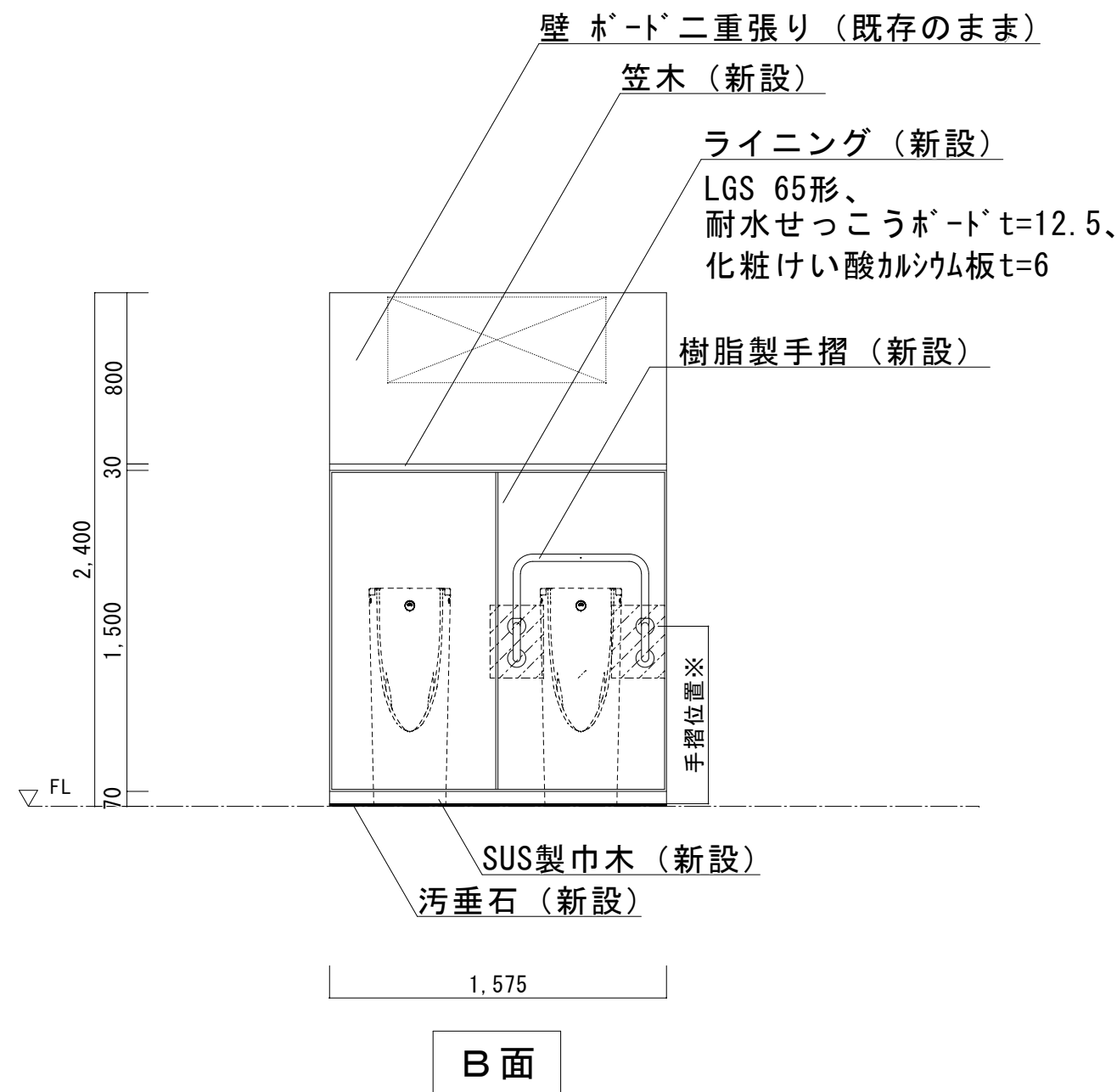
便器	小便器×4 (別途設備工事にて新設)
ライニング	下地：LGS・耐水せっこうボード t=12.5 仕上：化粧けい酸カルシウム板 t=6 A&Aマテリアルステント 漆黒系同等品 (新設)
	樹脂製笠木 t=12 TOTOMアライトカウンター白系同等品 (新設)
	SUS製巾木 t=2 H=70 (新設)
	小便器用手摺 TOTOT112CU22ホワイト同等品 下地補強含む (新設)
	汚垂石 (磁器質タイル) t=6 600×3620 TOTOHITセラ・フロアPU (薄型) 黒系同等品 (新設)
壁	下地：耐水せっこうボード t=12.5 仕上：化粧けい酸カルシウム板 t=6 (既存のまま)

 ライニング改修範囲



 小便器手摺下地補強範囲

※樹脂製手摺の取付位置は、
 汚垂石天端+940mm程度とし、
 監督員と協議の上、決定する。



仕上表 改修前

便器	小便器×2（別途設備工事にて撤去）
ライニング	下地：LGS・耐水せっこうボード t=12.5 仕上：化粧けい酸カルシウム板 t=6（アスベスト含有みなし撤去）
	SUS製笠木（撤去）
	SUS製巾木 H=70（撤去）
	小便器用手摺（撤去）
壁	下地：耐水せっこうボード t=12.5 仕上：化粧けい酸カルシウム板 t=6（既存のまま）

仕上表 改修後

便器	小便器×2（別途設備工事にて新設）
ライニング	下地：LGS・耐水せっこうボード t=12.5 仕上：化粧けい酸カルシウム板 t=6 A&Aマテリアルステント 漆黒系同等品（新設）
	樹脂製笠木 t=15 TOTOMARUライトカウンター白系同等品（新設）
	SUS製巾木 t=2 H=70（新設）
	小便器用手摺 TOTOTI12CU2ホワイト同等品 下地補強含む（新設）
	汚垂石（磁器質タイル） t=6 600×1575 TOTOHAIトセラ・フロアPU（薄型）黒系同等品（新設）
壁	下地：耐水せっこうボード t=12.5 仕上：化粧けい酸カルシウム板 t=6（既存のまま）

参考数量書

§ 工事名称 福山市庁舎東棟他便所改修工事

§ 工事場所 福山市東桜町3番5号

特記事項

- 1 この数量書は、福山市建設工事請負契約約款1条に定める「設計図書」ではなく参考数量です。従って、契約後の変更等を含意するものではありません。
- 2 数量の算出は次の基準によっています。

※ 「建築数量積算基準・同解説」 (建築工事積算研究会制定)

設 計 書

工事名称 福山市庁舎東棟他便所改修工事

工事場所 福山市東桜町3番5号

【設計概要】
便所改修工事 一式

- ・東棟1階男子便所
- ・東棟2階男子便所
- ・東棟3階男子便所
- ・議会棟4階男子便所
- ・議会棟5階男子便所

【別途工事】
給排水衛生設備工事
電気設備工事

名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
直接工事費				
直 接 工 事 費	1	式		
計				
共通費				
共通仮設費	1	式		
現場管理費	1	式		
一般管理費等	1	式		
計				
工事価格	1	式		
消費税等相当額	1	式		消費税率 10 %
工事費	1	式		

東棟1階男子便所改修工事		金属及び内装改修				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
既存手すり撤去	下地共	1	式			
ライニングテラゾ笠木撤去	集積共	1	式			
ライニング撤去	化粧けい酸カルシウム板、下地ボード、 軽鉄壁下地 アスベスト含有みなし撤去 集積共	2.3	m ²			
ステンレス幅木撤去	集積共	1	式			
ライニング笠木新設	TOTO MLK1同等品 t=12 材工共	1.5	m			
ライニング設置 化粧けい酸カルシウム 板張り	軽量鉄骨下地 65形、 耐水石膏ボード t=12 含む 材工共	2.3	m ²			
ステンレス幅木新設	厚2.0 材工共	1.5	m			
シーリング	一般部 変成シリコン系 (MS-2) 15×10	4.9	m			
汚垂石 東棟	TOTO AB680BR同等品 材工共 シーリング含む 穴あけ、切断、塗装加工含む	1	式			
手すり設置 TOTO T112CU2	小便器 樹脂被覆タイプ、取付金具・ ボルトセット・下地補強含む 材工共	1	式			
計						

東棟2階男子便所改修工事		金属及び内装改修				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
既存手すり撤去	下地共	1	式			
ライニングテラゾ笠木撤去	集積共	1	式			
ライニング撤去	化粧けい酸カルシウム板、下地ボード、 軽鉄壁下地 アスベスト含有みなし撤去 集積共	2.3	m ²			
ステンレス幅木撤去	集積共	1	式			
ライニング笠木新設	TOTO MLK1同等品 t=12 材工共	1.5	m			
ライニング設置 化粧けい酸カルシウム板張り	軽量鉄骨下地 65形、 耐水石膏ボード t=12 含む 材工共	2.3	m ²			
ステンレス幅木新設	厚2.0 材工共	1.5	m			
シーリング	一般部 変成シリコン系 (MS-2) 15×10	4.9	m			
汚垂石 東棟	TOTO AB680BR同等品 材工共 シーリング含む 穴あけ、切断、塗装加工含む	1	式			
手すり設置 TOTO T112CU2	小便器 樹脂被覆タイプ、取付金具・ ボルトセット・下地補強含む 材工共	1	式			
計						

議会棟4階男子便所改修工事		金属及び内装改修				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
既存手すり撤去	下地共	1	式			
ラインク笠木撤去	集積共	3.6	m			
ラインク撤去	化粧けい酸カルシウム板、下地ボード、 軽鉄壁下地 アスベスト含有みなし撤去 集積共	5.8	m ²			
ステンレス幅木撤去	集積共	1	式			
ラインク笠木新設	TOTO MLK1同等品 t=12 材工共	3.6	m			
ラインク設置 化粧けい酸カルシウム 板張り	軽量鉄骨下地 65形、 耐水石膏ボード t=12 含む 材工共	5.8	m ²			
ステンレス幅木新設	厚2.0 材工共	3.6	m			
シーリング	一般部 変成シリコン系 (MS-2) 15×10	7.1	m			
汚垂石 議会棟4階	TOTO AB690BR同等品 材工共 穴あけ、切断、塗装加工含む	1	式			
手すり設置 TOTO T112CU22	小便器 樹脂被覆タイプ、取付金具・ ボルトセット・下地補強含む 材工共	1	式			
計						

議会棟 5階男子便所改修工事		金属及び内装改修				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
既存手すり撤去	下地共	1	式			
ライニング 笠木撤去	集積共	1.6	m			
ライニング 撤去	化粧けい酸カルシウム板、下地ボード、 軽鉄壁下地 アスベスト含有みなし撤去 集積共	2.5	m ²			
ステンレス幅木撤去	集積共	1	式			
ライニング 笠木新設	TOTO MLBA同等品 t=15 d=300, 320 2枚 シーリング 含む 材工共	1.6	m			
ライニング 設置 化粧けい酸カルシウム 板張り	軽量鉄骨下地 65形、 耐水石膏ボード t=12 含む 材工共	2.5	m ²			
ステンレス幅木新設	厚2.0 材工共	1.6	m			
シーリング	一般部 変成シリコン系 (MS-2) 15×10	4.8	m			
汚垂石 議会棟 5階	TOTO AB680BR同等品 材工共 穴あけ、切断、塗装加工含む	1	式			
手すり設置 TOTO T112CU2	小便器 樹脂被覆タイプ、取付金具・ ボルトセット・下地補強含む 材工共	1	式			
計						

